



株式会社 アイワイバンク銀行





目次

はじめに	1
ごあいさつ	2
1年の歩み	4
事業コンセプトと概要	6
ATM戦略	8
事業概要：ATM事業	10
事業概要：金融サービス事業	14
情報システム・ネットワーク	18
おしえて! アイワイバンク	20
会社概要/役員	22
主要株主/組織図	23
リスク管理の取り組み.....	24
コンプライアンスの取り組み	25
経営成績および財政状態	26
貸借対照表	28
損益計算書/キャッシュ・フロー計算書	29
その他の財務等情報	30
サービスネットワーク	32
ホームページのご利用案内	36
IYグループのご紹介	37

会社概要

(平成14年3月末日現在)

名称	株式会社アイワイバンク銀行 (英名 IYBank Co., Ltd.)
本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング
代表取締役社長	安斎 隆
設立	平成13年4月10日
開業	平成13年5月7日
資本金	610億円
発行済株式数	122万株

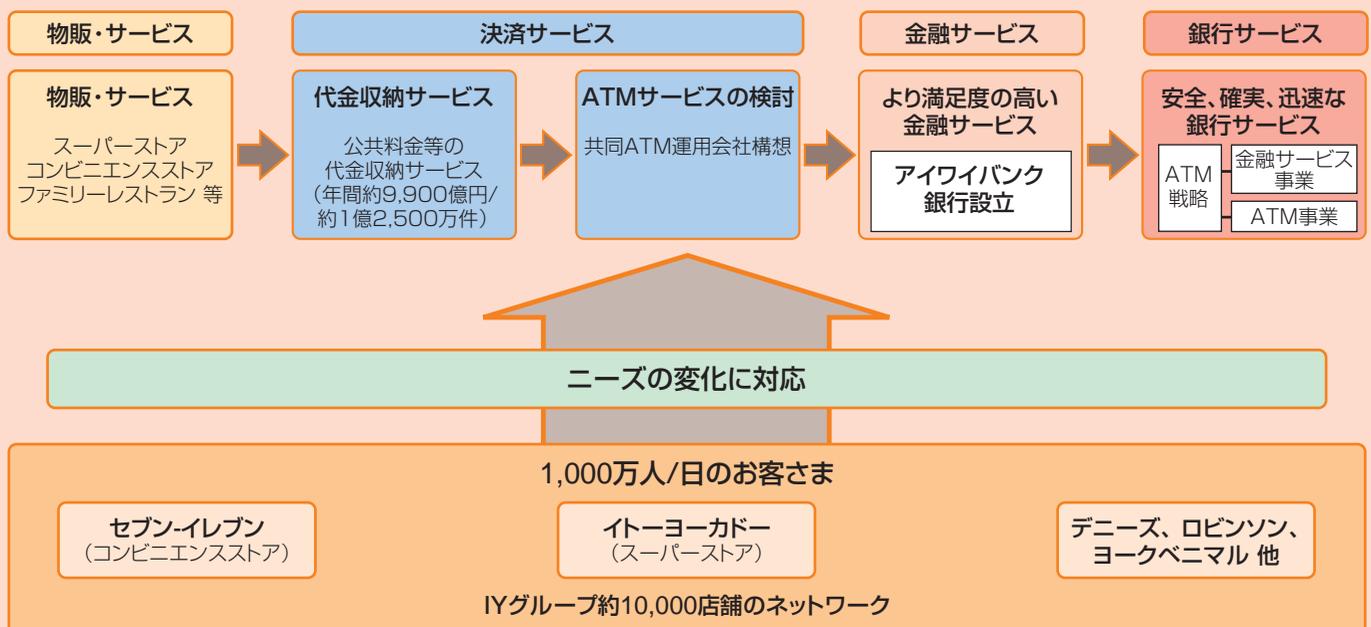
当社は全国銀行協会の正会員です。

はじめに

株式会社アイワイバンク銀行は、これまでにないまったく新しいコンセプトから誕生した銀行です。流通小売業のイトーヨーカドーグループ(IYグループ)を経営母体に平成13年4月に設立され、同年5月から21世紀最初の銀行として営業を開始いたしました。当社は、イトーヨーカドー、セブン-イレブン等、IYグループの店舗に設置した“ATM(現金自動預払機)”とパソコンや携帯電話による“ネットバンキング”が一体となったより身近で便利な普通預金口座取引等を提供する『金融サービス事業』ならびに、原則24時間365日稼働する当社のATMネットワークをより多くの金融機関のお客さまにご利用いただく『ATM事業』を展開しております。

アイワイバンク銀行は、これからもお客さまにとって「おサイフ」代わりとなるような、一番身近で便利な銀行を目指し、「安全、確実、迅速」なサービスの提供に努めてまいります。

アイワイバンク銀行設立の背景





代表取締役社長 安齋 隆

皆さまには、平素よりアイワイバンク銀行をお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。このたび、私どもの経営方針や事業概要等に対するご理解を深めていただくために、当社にとって初めての「ディスクロージャー誌」を作成いたしました。発刊するにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

時代のニーズにあった金融サービスの提供を目指して

株式会社アイワイバンク銀行は、これまでにないまったく新しいタイプの銀行として平成13年4月に誕生いたしました。イトーヨーカドーグループ(IYグループ)の出資により設立された当社は、気軽に便利な「おサイフ」代わりの銀行”をコンセプトに、時代のニーズにあった金融サービスの提供を目指しております。

もとよりIYグループは、スーパーストア事業のイトーヨーカ堂を中核に、コンビニエンスストア事業のセブン-イレブン・ジャパン、レストラン事業のデニーズジャパン等、日常生活に密着した身近な存在として発展を遂げてきました。近年、お客さまから「預金の出し入れや振込が、24時間いつでも簡単にできるようにならないか」とのご要望が、IYグループ各店に多数寄せられておりました。特に物品販売においては、お客さまとの現金の受け払い、もしくはクレジットカードによる決済が伴うことから、より利便性の高いサービスの提供を目指すIYグループとしては、店頭での金融サービスの提供は必然の流れでもありました。加えてセブン-イレブンで提供する公共料金等の代金収納サービスも年々利用者が拡大し、最近では件数にして1億件を超える等、同じく金融サービス提供へのニーズも高まっています。

経営の基本方針

このように、流通と金融が極めて緊密な関係を築きあげるなか、お客さまの視点から、利便性を第一に考えた独自の銀行サービスを提供することを目指して、アイワイバンク銀行が設立されました。当社は、24時間365日利用できるセブン-イレブン等、IYグループ約1万店の店舗インフラを活用したATMネットワークを構築することで、「安全、確実、迅速」にお客さまの暮らしに密着した「おサイフ」代わりの銀行サービスを提供することに努めます。また、他の金融機関に利便性の高い当社ATMネットワークを活用いただくことで、事業の効率化やお客さまへのサービスの向上等、共存共栄の理念に基づいたサービスの実現を図ります。一方、当社が展開する金融サービスをIYグループのお客さまに提供することで、より多くのお客さまにより多くご来店いただき、結果としてIYグループの収益力が向上するという相乗効果を追求してまいります。

事業基盤の構築に向けた施策を積極展開

初年度決算である平成13年度において、当社は着実に事業インフラを整備してまいりました。セブン-イレブンを中心としたIYグループ各店へのATM設置、銀行をはじめとする金融機

関との提携、BANCS(都銀キャッシュサービス)との接続、ネットバンキングサービスの提供等、積極的な事業展開に努め、より生活に密着した銀行サービスの提供に力を注いでまいりました。期末時点における、個人のお客さまの口座数は約6万3千口座、預金残高は約52億円となりました。また、ATMのご利用件数もサービス開始以来着実に増加しており、曜日・時間帯別のご利用状況では、給与振込日や土日祝日、そして夜間のご利用度が高まる等、身近な場所で原則24時間365日稼働する当社のATMはお客さまから確実にご支持いただいております。

当期末におけるATMの状況は、東京、神奈川、埼玉、千葉、静岡、大阪、兵庫の1都1府5県に3,657台の設置を完了しておりますが、平成15年3月末に約5,000台、平成18年3月末までには、全国で約7,150台の設置を見込んでおります。当社では、ATMの設置エリアの拡大に伴い、地方銀行との提携を積極的に進めるとともに、その他の金融機関ともATM利用提携を推進し、より多くのお客さまに当社のATMをご利用いただけるようサービス内容の充実を図っております。

なお、こうした事業展開等を評価され、平成13年11月には格付け機関のスタンダード&プアーズ社より、長期格付け「A」を取得いたしました。また、昨年度における2度の第三者割当増資の実施により、銀行をはじめ、証券会社、生命保険会社、損害保険会社、システム関係の会社およびIYグループお取引先の各社さまからご出資をいただき、年度末の資本金は610億円となっております。

提供サービスの拡充でお客さまの利便性をさらに追求

当社では、ATMの設置拡大ならびに他の金融機関との提携を積極的に推進する等、ATMネットワークを活用したサービス基盤の拡充と収益基盤の確立を図る一方、新たな個人向け金融サービスの開発を進めております。具体的には、各種の代金決

済サービスをはじめ、個人向けのローンサービスの導入を検討しております。同時に、原則24時間365日稼働する当社のATMネットワークを活用した、一般事業会社向けの売上金入金サービスの導入も検討してまいります。

また、アイワイバンク銀行は今後、IYグループが展開する金融サービス戦略の中核的な存在として、顧客サービスへの付加価値を高めていく方針です。アイワイバンク銀行口座を軸とした多機能カード等の実現を検討し、IYグループのリテールバンクとして、その機能を最大限に発揮してまいります。

当社は、IYグループがこれまで培ってきたお客さまからの信頼を基盤に、国内最大の店舗網・営業基盤、最先端の情報システム、効率的な物流ネットワーク等を総合的に活用し、サービスの原点としての利便性を追求することで、お客さまのニーズにあった21世紀型の銀行サービスを提供し続けてまいります。それにより、お客さまにとって、安心で、気軽に、便利な銀行、いつでも、どこでも利用できるサービス、そんな生活に密着した『世界でもただ一つの“コンビニ銀行”』として発展を遂げていきたいと考えております。

社員一同、夢と希望を持ち、一丸となって経営努力をし続けてまいりますので、お客さまや、お取引先さま、さらには株主の皆さまにおかれましては、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 **安高 隆**

社是

1. 私たちはお客さまに信頼される
誠実な企業でありたい。
2. 私たちは取引先、株主、地域社会に信頼される
誠実な企業でありたい。
3. 私たちは社員に信頼される
誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

1年の歩み

平成 13年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

平成 13年 4月 6日
予備免許取得

10日
「アイワイバンク銀行」
設立(資本金 202 億
500 万円)

25日
銀行営業免許取得

4,000

5月 7日
営業開始
(新規口座開設の受付
開始)

15日
ATM サービス開始
(東京都での ATM サー
ビス開始)

三和銀行(現 UFJ 銀
行)と提携

23日
全国銀行協会に正会
員として入会



4月6日 予備免許取得(金融庁にて)

6月 1日
静岡銀行と提携
(静岡県での ATM サー
ビス開始)

11日
全銀システムと接続

13日
都市銀行カードによる
当社 ATM での出金が
可能に(BANCS 接続)

18日
あさひ銀行と提携
(埼玉県での ATM サー
ビス開始)
振込サービス開始

7月 9日
野村證券・日興證券(現
日興コーディアル証券)
2社と提携

23日
大阪府での ATM サー
ビス開始

27日
兵庫県での ATM サー
ビス開始

8月 30日
第1回第三者割当増資
(資本金 308 億 500
万円に)

9月 12日
デニーズにて ATM サー
ビス開始

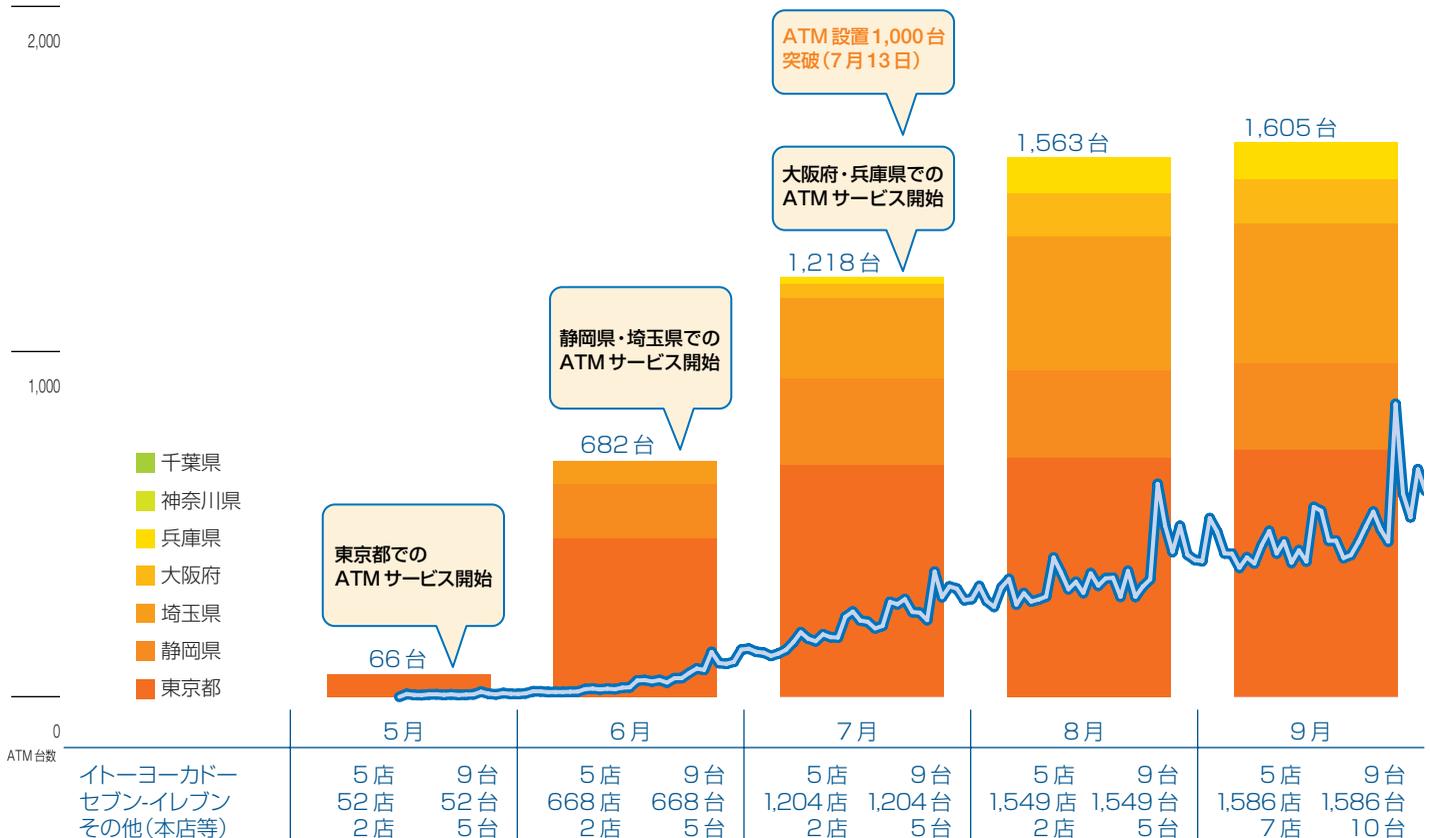


5月15日 ATM サービス開始セレモニー
(本店にて)

ATM 設置台数／一日あたりのご利用件数推移(残高照会を除く)

<棒グラフ 左目盛り>

<折れ線グラフ 右目盛り>



10月

11月

12月

平成 14年 1月

2月

3月

10月12日
イトーヨーカードへの
ATM設置を拡大

11月5日
BANCS直接接続開始
6日
格付け取得「A」
(S&P社 長期カウン
ターパーティー格付け)

12月17日
“ネットバンキング”
サービス開始
新生銀行と提携

平成 14年 1月 21日
横浜銀行と提携
(神奈川県での ATM
サービス開始)

28日
三井住友銀行と提携

2月6日
アイワイカードとの共
同キャンペーン開始

18日
千葉銀行と提携
(千葉県でのATMサー
ビス開始)

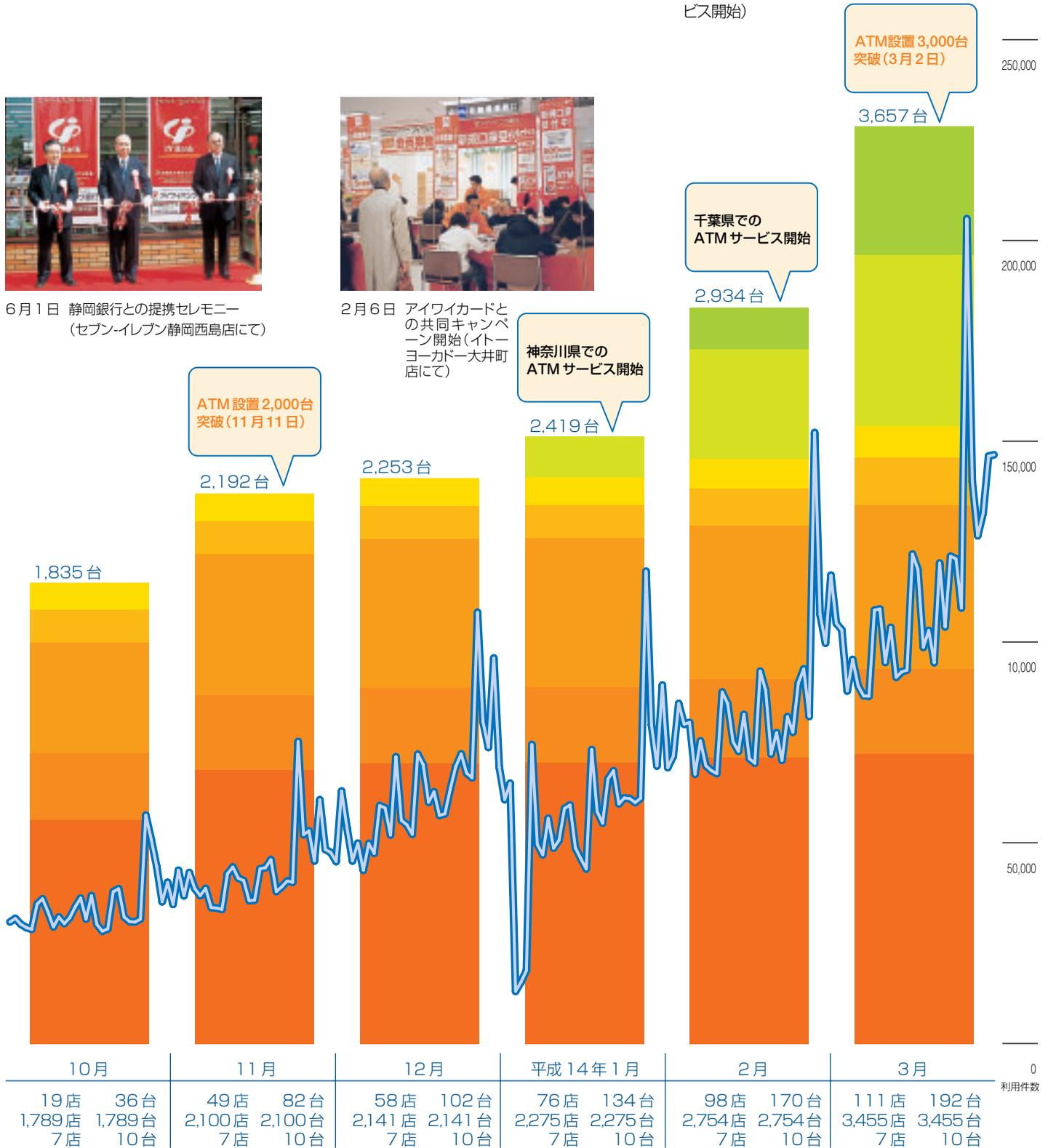
3月27日
第2回第三者割当増資
(資本金 610 億円に)



6月1日 静岡銀行との提携セレモニー
(セブン-イレブン静岡西島店にて)



2月6日 アイワイカードと
の共同キャンペ
ーン開始(イト
ーヨーカード大井町
店にて)





新しい時代の、新しい銀行のカタチ 「おサイフ」代わりに 身近な銀行をめざして

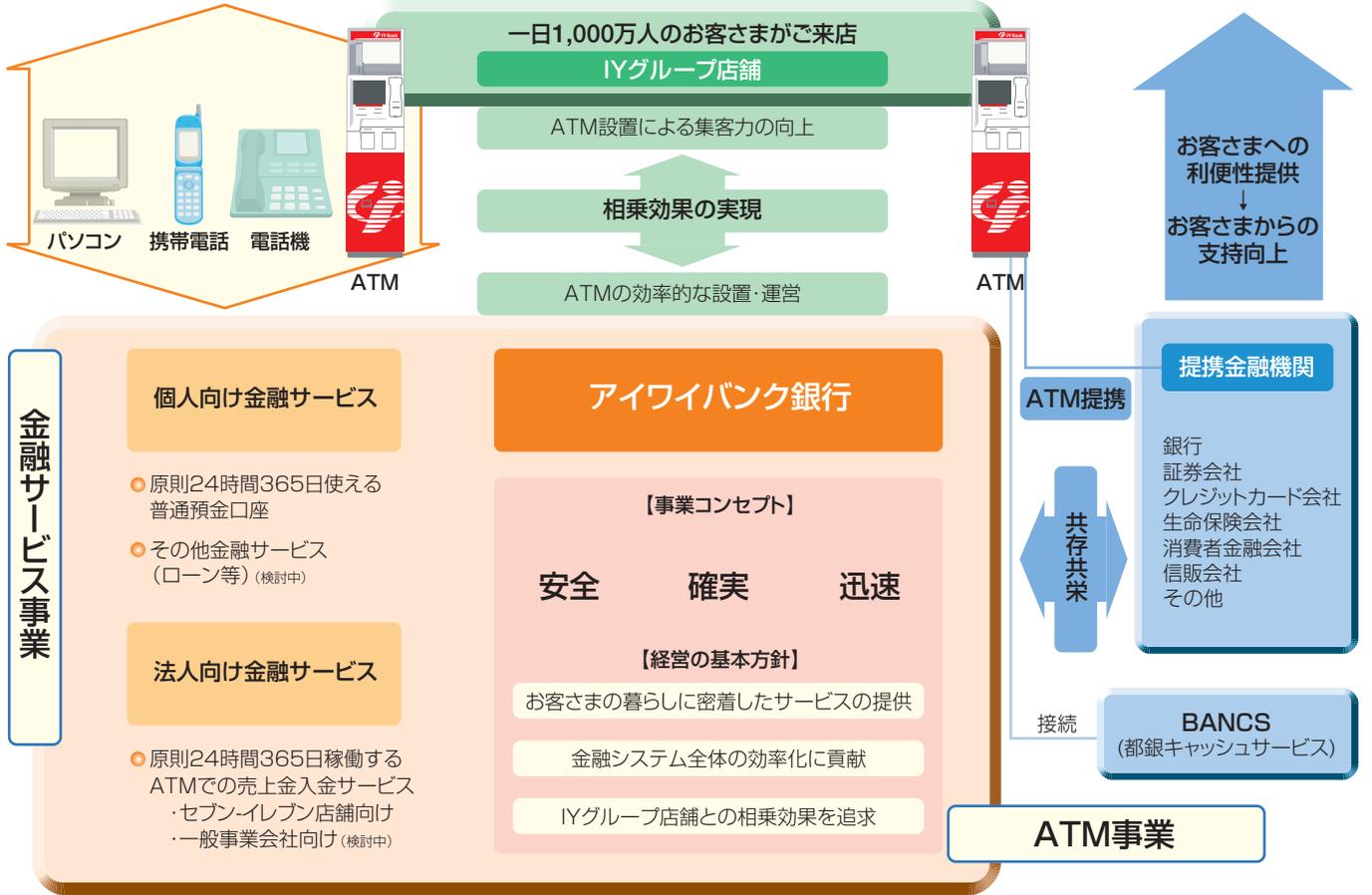
金融サービス事業とATM事業を展開

アイワイバンク銀行は、これまでの銀行とは、その成り立ちもサービスの提供方法も異にするまったく新しいコンセプトの銀行です。IYグループから誕生した当社は、イトーヨーカドーやセブン-イレブン、デニーズ等の店舗にATMを設置し、当社に口座を開設されたお客さまに、原則24時間365日、現金のお引出しやお預入れ、お振込等のサービスをご提供しています。当社では、こうした普通預金口座取引をはじめとする『金融サービス事業』と、他の金融機関と提携することでより多くのお客さまに当社ATMをご利用いただく『ATM事業』を通じて、どなたでも安心して便利にお使いいただける銀行サービスの提供に努め、21世紀における新しい銀行のカタチを創造してまいります。



アイワイバンク銀行の事業概要

お客さま



イトーヨーカドー、セブン-イレブンの店舗ネットワーク

(平成14年6月末日現在)

IYグループであるイトーヨーカドーおよびセブン-イレブンの全国各地の店舗数は以下の通りです。(デニーズ、ロビンソン、ヨークベニマル等は含まれておりません。)

												北海道		15 761
												青森	岩手	5 1 6
												秋田	宮城	1 - 3 274
												山形	福島	- 86 4 336
												栃木	茨城	4 302 6 397
												東京		31 1,236
												千葉		22 666
												石川		
												福井		
												滋賀		
												富山		
												新潟		
												長野		
												群馬		
												山梨		
												埼玉		
												神奈川		
												静岡		
												三重		
												和歌山		
												奈良		
												愛知		
												岐阜		
												大阪		
												兵庫		
												京都		
												鳥取		
												岡山		
												広島		
												島根		
												山口		
												徳島		
												香川		
												愛媛		
												高知		
												福岡		
												佐賀		
												大分		
												長崎		
												熊本		
												宮崎		
												鹿児島		
												沖縄		

上段:イトーヨーカドー (178店舗)
下段:セブン-イレブン (9,147店舗)



もっと身近に、もっと便利に 4,000 台を超える ATM ネットワーク

暮らしのニーズにお応えする「生活インフラ」をご提供

「深夜や早朝、日曜日や祝日でも、いつでも近くで ATM が使えたら便利なのに」。そんなお客さまのご要望から生まれたアイワイバンク銀行は、平成 13 年 5 月、66 台の ATM でサービスをスタートしました。1 年後の平成 14 年 6 月末日現在では、1 都 1 府 6 県で 4,075 台に広がり、ますますお客さまに身近な存在としてご利用いただけるようになりました。ATM はセブン-イレブン店内に合わせてコンパクトに設計されており、セキュリティ面についてもお客さまに安心してご利用いただけるよう工夫しました。当社では、今後、全国規模での ATM ネットワークの拡大を進め、平成 18 年 3 月末までには、IY グループが出店している地域に約 7,150 台の設置を計画しています。



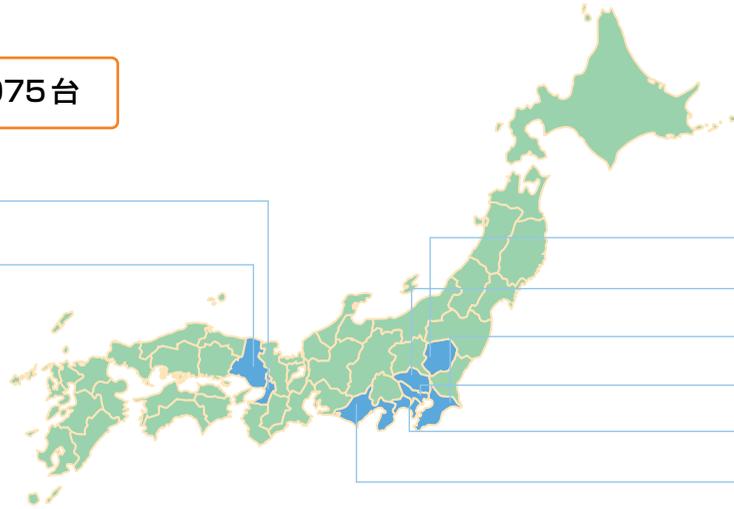
都府県別 ATM 設置台数

(平成 14 年 6 月末日現在)

1 都 1 府 6 県に 4,075 台

大阪府 237 台

兵庫県 154 台



栃木県 226 台

埼玉県 667 台

千葉県 534 台

東京都 1,204 台

神奈川県 710 台

静岡県 343 台

ATM の機能とセキュリティ

<ATMに常備のパンフレット類>

- ①普通預金口座申込書
- ②冊子「ご利用にあたって」
(提携金融機関のご利用時間/手数料のご案内)
- ③INFORMATION
(提携金融機関のご利用時間/手数料のご案内)
- ④住所変更届

お問い合わせ用オートフォン

ご利用できる時間帯やご利用手数料、その他ご不明な点等をお気軽にお問い合わせください。

動画、音声による操作案内

動画と音声で、分かりやすく操作の手順をご案内します。

買い物フック

操作の際に、買物袋をぶら下げることができます。

点字ラベル(4ヶ所)



<コンパクト設計>

セブン-イレブンの店内スペースに合わせたスリムな設計になっています。

幅 45cm
高さ 136cm
奥行き 55cm

後方が確認できるミラー

ATMのご利用中も後方を確認することができます。

画面特殊フィルター

ATMの画面には特殊フィルターを装備していますので、斜め横からは画面が見えなくなります。

テンキー

入力操作が周りから見えないように、奥まったところに設置しています。

警備用センサー内蔵

防犯機能を充実させています。

ATM の展開

平成13年4月10日

アイワイバンク銀行設立

平成13年5月15日~12月

先行展開

東京都、静岡県、
埼玉県、大阪府、兵庫県

平成14年1月~平成14年3月

重点地区拡大

先行展開地区
+
神奈川県、千葉県

平成14年3月末日
累計3,657台

平成14年4月~

全国展開

IYグループが出店している
都道府県へ順次展開

平成18年3月末
累計約7,150台(予定)



より多くのお客さまに向けて 提携戦略の推進で 利便性をさらにアップ

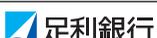
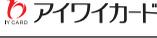
銀行をはじめ、金融機関14社と提携

アイワイバンク銀行では、当社のATMネットワークをより多くのお客さまにご利用いただけるよう、金融機関との提携を積極的に進めています。地域展開の拡大に歩調を合わせ、地方銀行との提携を積極的に進めるとともに、都市銀行、証券会社、クレジットカード会社、生命保険会社、消費者金融会社そして信販会社等、さまざまな金融機関とのATM利用提携を推進しています。これにより、提携金融機関のお客さまにも、当社のATMを便利にご利用いただけるようになっていきます。平成14年6月末日現在、銀行8行、証券会社2社、クレジットカード会社4社と提携しており、BANCS(都銀キャッシュサービス)との接続も完了しています。



当社 ATM にてご利用いただけるサービス

(平成 14 年 6 月末日現在)

ご利用いただける金融機関	取扱開始時期	出金	入金	振込	残高照会
アイワイバンク銀行 	平成 13 年 5 月	○	○	○	○
提携金融機関(銀行)	 UFJ 銀行	平成 13 年 5 月	○	○	○
	 静岡銀行	平成 13 年 6 月	○	○	—
	 あさひ銀行	平成 13 年 6 月	○	○	○
	 新生銀行	平成 13 年 12 月	○	○	—
	 横浜銀行	平成 14 年 1 月	○	○	—
	 三井住友銀行	平成 14 年 1 月	○	—	—
	 千葉銀行	平成 14 年 2 月	○	○	—
	 足利銀行	平成 14 年 5 月	○	○	—
提携金融機関(証券会社)	 野村証券	平成 13 年 7 月	○	○	—
	 日興コーディアル証券	平成 13 年 7 月	○	○	—
提携金融機関(クレジットカード会社)	 アイワカード	平成 14 年 5 月	○	○	—
	 JCB	平成 14 年 5 月	○	○	—
	 三井住友カード	平成 14 年 5 月	○	○	—
	 ユーシーカード	平成 14 年 5 月	○	○	—
BANCS加盟都市銀行	みずほ銀行/東京三菱銀行/大和銀行	平成 13 年 6 月	○	—	○

※ 金融機関によってご利用時間・手数料等が異なります。

平成 14 年 7 月以降の提携予定先

銀行  **東京三菱銀行**  **東邦銀行**  **福岡銀行**  **八十二銀行** 等

生命保険会社  **第一生命**  **住友生命**  **太陽生命** 等

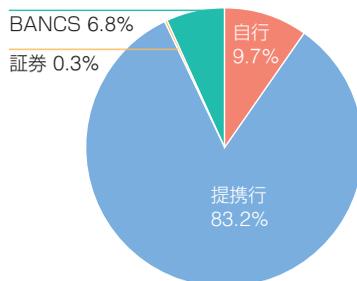
消費者金融会社  **武富士**  **アコム**  **スロミス**  **アイフル**  **三洋信販**  **レイク**

 **アイク**  **ダイック** 等

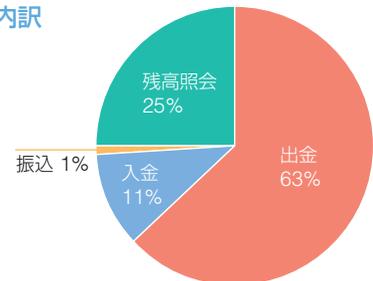
上記のほか、その他のクレジットカード会社、信販会社等との提携も予定しています。

ATM ご利用状況データ

提携先別 ご利用件数内訳
(残高照会除く/
平成 14 年 3 月・4 月平均)



サービス別 ご利用件数内訳
(提携銀行分/
平成 14 年 3 月・4 月平均)



アイワイバンク銀行との提携の特長

アイワイバンク銀行は、金融機関との提携を積極的に進めることで、お客さまの利便性向上を図っています。当社とのATM利用提携には、入出金等のキャッシュポイントの拡大だけでなく、以下のような特長があります。

アイワイバンク銀行とのATM利用提携

IYグループ店舗でのサービス提供

- イトーヨーカドー、セブン-イレブン、デニーズ等の国内最大の店舗ネットワークを擁するIYグループ店舗でのサービス提供
- 1日1,000万人の顧客基盤の活用
- お客さまの暮らしに密着した店舗でのサービス提供

セブン-イレブン店舗でのATMサービス

- セブン-イレブンにおける、原則24時間365日稼働するATMの活用
- 1日1店舗当たり1,000人の集客力の活用
- 国内最大の店舗ネットワークの活用（平成14年6月末日現在：9,147店）
- 身近で明るい店舗でのサービス提供

ATMの代替／効果的な活用

- 提携金融機関におけるATMの代替、ATM機能の代行
⇒当社ATMはすべて各提携銀行との共同出張所
⇒業務のアウトソーシングによる効率的な事業展開へ
- 提携銀行の看板を掲出

セブン-イレブン店頭設置の“突き出し看板”



セブン-イレブン店頭設置の“集合看板”

- ATM画面・レシート表示は提携銀行ごとの仕様



- 全ATM一律のサービス展開（より効率的なATMインフラの活用）

お客さまの利便性向上

ATM利用促進

アイワイ銀行では、サービス内容に関するパンフレットやポスター等を掲出するとともに、IYグループと連携しATMの利用促進に向けたさまざまな広告宣伝活動を行っています。



ATM 備え付けパンフレット



セブン-イレブン店頭掲示ポスター



新聞広告



テレビCM(関東)



テレビCM(静岡)

提携金融機関各社にも、利用促進用ティッシュやポスター等を作成いただき、支店にて配布、掲示していただく等ご協力をいただいております。



交通広告(電車内 中吊り)



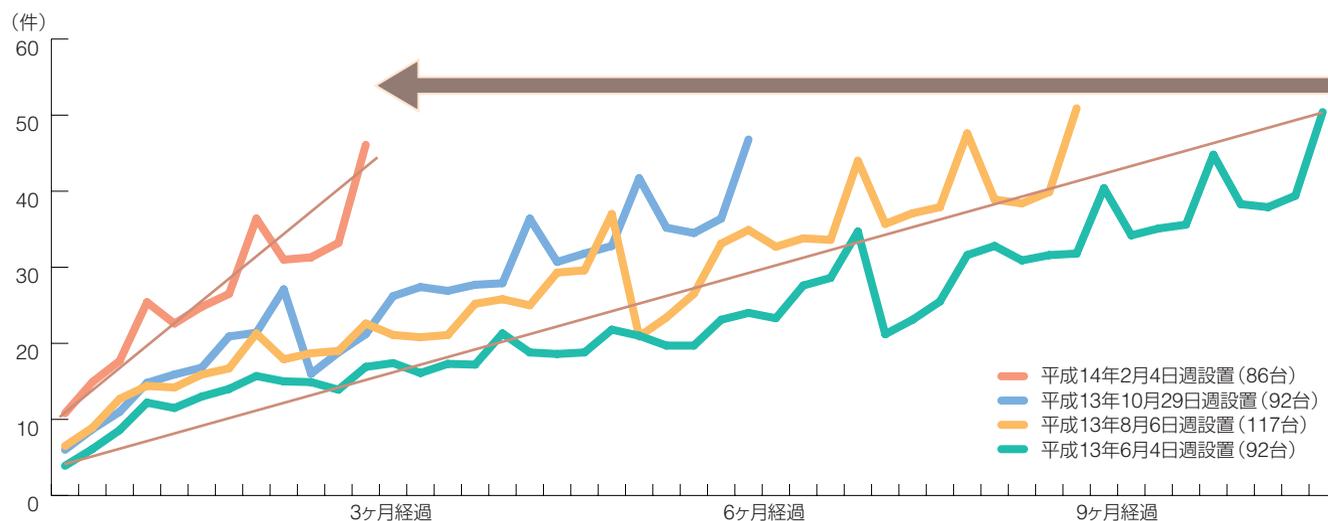
利用促進用ポケットティッシュ



銀行内掲示ポスター

設置時期別 週平均一日あたり ご利用件数推移

広告宣伝活動によって認知度が上昇し、提携金融機関も増加したことから、開業当初の平成13年6月に設置したATMのご利用件数に比べて、平成14年2月に設置したATMのご利用件数の伸びが顕著になっています。(入金・出金・振込件数の合計。残高照会を除く)





原則 24 時間 365 日 セブン-イレブンで 出金、入金、振込が可能

付加価値の高いきめ細かな金融サービスを追求

アイワイバンク銀行の普通預金口座の特長は、お近くのセブン-イレブンに設置された ATM で、原則 24 時間 365 日現金のお引出しやお預入れ、そしてお振込ができることです。当社が“コンビニ銀行”と呼ばれる理由がそこにあります。しかも、7時から19時までは曜日を問わず、休日でも、年末年始でも入出金手数料が無料です。また、パソコン、携帯電話(iモード)、およびプッシュホン方式の電話機によるネットバンキングを標準装備しているので、いつでも、どこでも、ご自分の口座にアクセスして、サービスをご利用いただくことができます。今後は当社の新たなサービスとして、各種代金決済サービスや個人向けローンサービスのほか、一般事業会社向けの売上金入金サービス等の導入を進めていきます。なお、当社は平成13年11月にスタンダード&プアーズ社より長期格付け「A」を取得しています。



個人向け金融サービス

● 普通預金口座

アイワイバンク銀行に普通預金口座を開設していただくと、ATM はもちろん、インターネット、モバイル、テレホンバンキングがすぐにご利用いただけます。普通預金金利は 0.05 % です(平成 14 年 6 月末日現在)。なお、当社の普通預金は預金保険制度の対象となっています。

ATM

お近くのセブン-イレブン等に設置した ATM が、原則 24 時間 365 日ご利用いただけます。
 土日・祝日でも 7 時から 19 時まで入金・出金の手数料が無料です。また、当社のカードなら原則 24 時間 365 日、お振込の受付ができます。なお、当社では、お取引明細表(ステートメント)が通帳代わりとなります。

インターネットバンキング

インターネットを使って、いつでもどこでも原則 24 時間 365 日ご利用いただけます。
 インターネットバンキングとは、パソコン端末からインターネットを経由してお取引いただくサービスです。お振込、残高照会、お取引明細照会等がご利用いただけます。

モバイルバンキング

i モード公式サイトだから簡単アクセス。いつでもお手持ちの i モードからご利用いただけます。
 モバイルバンキングとは、所定の携帯電話から所定のネットワークを経由して、お取引いただくサービスです。お振込、残高照会等がご利用いただけます。

テレホンバンキング

インターネット、i モードをご利用されないお客さまは、お電話をご利用いただけます。
 テレホンバンキングでは、プッシュホン方式の電話機から当社のテレホンセンターへお電話いただくことで、自動音声、またはオペレーター(有人)対応による残高照会等をご利用いただけます。

● 代金決済サービス

アイワイ・カード・サービス発行のクレジットカード(アイワイカード)等のご利用代金の口座振替がご利用いただけます。

● 今後の予定

- 代金決済サービス 各種口座振替等
- ローンサービス 個人向けローンサービス
- Y グループと連携したサービス デビットカード、ポイントカード、クレジットカード等の多機能型カードサービス

法人向け金融サービス

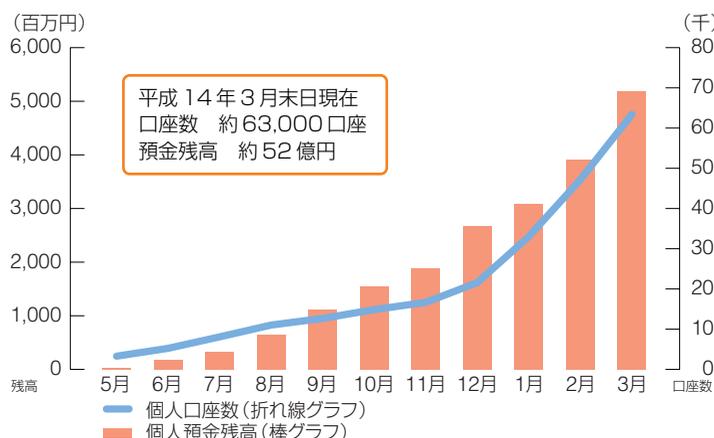
● 売上金入金サービス

約 3,000 店舗のセブン-イレブン向けに実施中(平成 14 年 6 月末日現在)。毎日の売上金を当社 ATM にてご入金いただくことで、利便性や安全性を高めたいニーズにお応えしています。

● 今後の予定

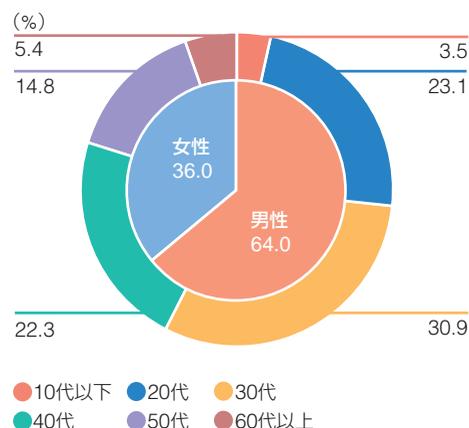
セブン-イレブン向けの売上金入金サービスをベースに、同じようなニーズを有する一般事業会社に対して同様のサービスを提供していく予定です。

個人口座数および預金残高推移



預金者男女別・年齢別構成比

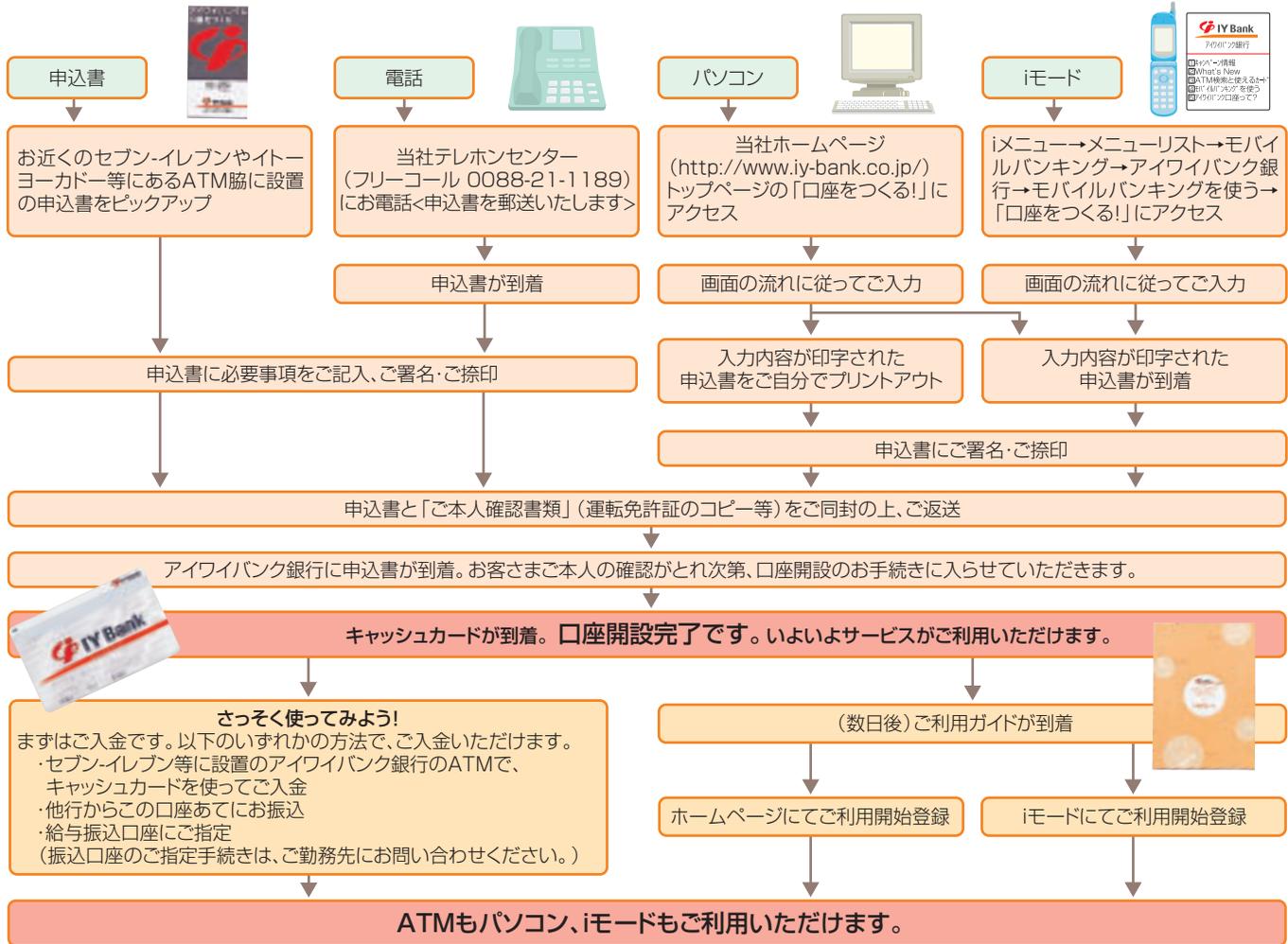
(平成 14 年 3 月末日現在)



事業概要：金融サービス事業

選べる新規口座開設窓口

(平成14年6月末日現在)



アイワイバンク銀行の普通預金口座 ~ご利用方法の一例~

アイワイバンク銀行の普通預金口座をお持ちいただくと、こんな便利なご利用方法があります。

親子で振込編



深夜タクシー編



ATM ご利用手数料

(平成 14 年 6 月末日現在)

平日はもちろん、土日や祝日も、7時から19時までの間は入出金手数料が無料です。

(消費税等含む)

		0	7	19	24
お引出し (振込出金含む)	平日	105円	無料	105円	
	土曜				
	日曜・祝日				
お預入れ	平日	無料(注)	無料	無料(注)	
	土曜				
	日曜・祝日				
残高照会	平日	無料	無料		
	土曜				
	日曜・祝日				

(注) お預入れについて、日中以外(19時～翌朝7時)の時間帯は、月3回まで無料、4回目から1回ごとに315円の手数料がかかります。

※ イトーヨーカドー設置店舗等の一部店舗については、お取り扱い日、お取り扱い時間が異なります。

※ システムメンテナンス作業等により、毎月第3日曜日の翌日0時30分頃～5時30分頃の間は、ATMをご利用いただけません。

お振込手数料

(平成 14 年 6 月末日現在)

「お振込のあて先」と「お取引明細表(ステートメント)の確認方法」によって、お振込手数料が異なります。

(消費税等含む)

お振込のあて先	お取引明細表の確認方法	ATM		インターネットバンキング		モバイルバンキング	
		3万円未満	3万円以上	3万円未満	3万円以上	3万円未満	3万円以上
アイワイバンク銀行あて	①インターネットのみで確認	105円		52円		52円	
	②郵送のみで確認	105円		105円		105円	
	③郵送+インターネットの両方で確認	105円		105円		105円	
他行あて	上記①、②、③とも	210円	420円	210円	420円	210円	420円

※ ご利用時間は24時間年中無休です。但し、システムメンテナンス作業等により、毎月第3日曜日の翌日0時30分頃～5時30分頃の間は、ATMをご利用いただけません。

また、毎月第3日曜日の翌日0時頃～5時30分頃の間は、インターネット/モバイル/テレホンバンキングをご利用いただけません。

※ ATMでのお振込については、別途所定のATMご利用(お引出し)手数料がかかります。ATMはカードのみのお取り扱いとなります。

※ 他行あてお振込のうち、平日15時～24時、土曜・日曜祝日、12月31日、1月1日～3日は振込予約となります。それ以外は当日中に振込の発信を行います。

口座維持手数料

(平成 14 年 6 月末日現在)

口座維持手数料は当社の普通預金口座をご利用いただくためにご負担いただく手数料です。初回お預入れ日の翌月から、毎月10日(土曜日・日曜日・祝日の場合は翌窓口営業日)に、口座よりお引落しされます。

なお、お取引明細表の確認方法およびお客さまの口座残高等に応じて、無料となる場合があります。

「お取引明細表(ステートメント)の確認方法」によって、口座維持手数料が異なります。

(消費税等含む)

お取引明細表の確認方法	月間口座維持手数料	優遇措置
インターネットのみで確認	無料	—
郵送のみで確認	105円	口座開設月およびその後の6ヶ月間は無料となります。※1 前月の普通預金の平均残高が10万円以上の場合、当月は無料となります。※2
郵送+インターネットの両方で確認	315円	—

※ 1「口座開設月およびその後の6ヶ月間」の例
5月に口座開設した場合、口座開設月は「5月」、その後の6ヶ月間は「6月から11月」
⇒ 11月までは無料となります。
⇒ 11月の平均残高が10万円未満の場合、12月に口座維持手数料がお引落しされます。

※ 2「平均残高」とは毎日の最終残高(24:00時点)を1ヶ月間(1日～月末)で平均したものです。
よって、月末に10万円以上あっても平均残高が10万円未満となる場合があります。
(計算方法)

$$\text{平均残高} = (\text{1日の最終残高} + \text{2日の最終残高} + \text{3日の最終残高} + \dots + \text{月末日の最終残高}) \div \text{月間の総日数}$$

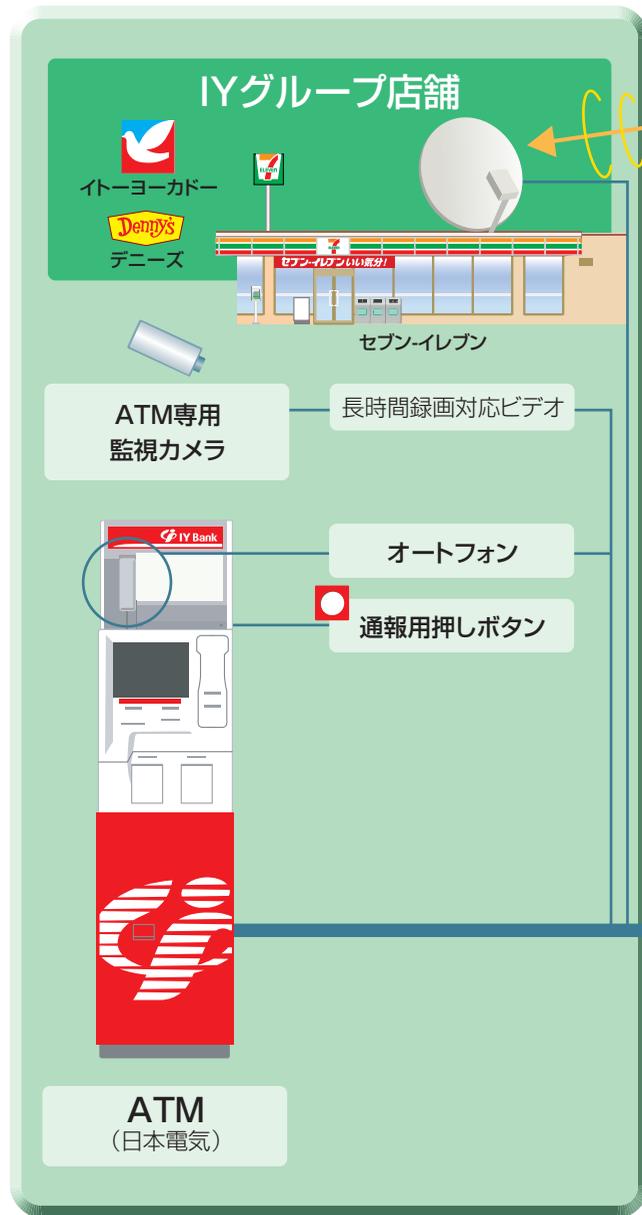
- 手数料およびサービス内容等については、平成14年6月末日現在のもので。
- 手数料の詳細およびその他の手数料については、当社のホームページ等をご覧ください。



お取引明細表(ステートメント)が通帳代わりです。

先進のトータルネットワークと 厳格なセキュリティ対応

ATMやパソコン等を通じて「安全、確実、迅速」なサービスをお客さまにご提供するため、アイワイバンク銀行では金融システムに多くの実績をもつ各会社さまの全面的なご協力のもと、IYグループと連携し、先進の情報システムを構築しています。ATMと当社のコンピュータセンターならびに提携金融機関を結ぶネットワークは、国際標準規格である「ISO8583」に準拠した手順を全面的に採用。勘定系(入出金)、警備、監視、電話の4つの機能を統合したトータルネットワークによって一元的に管理しています。また、すべてのデータ通信を暗号化するほか、万一の場合に備えてネットワーク機器や回線を2重化するとともにバックアップセンターを設ける等、従来のATM網以上に厳しいセキュリティ対策を整えています。



①システム運用センター

勘定系システムやネットバンキングシステム等の運用・管理業務を行い、システム全体を24時間監視しています。



②監視コールセンター

ATMに備え付けのオートフォンからのお問い合わせにお答えしています。ATMご利用中にご不明な点等をお気軽にお問い合わせください。



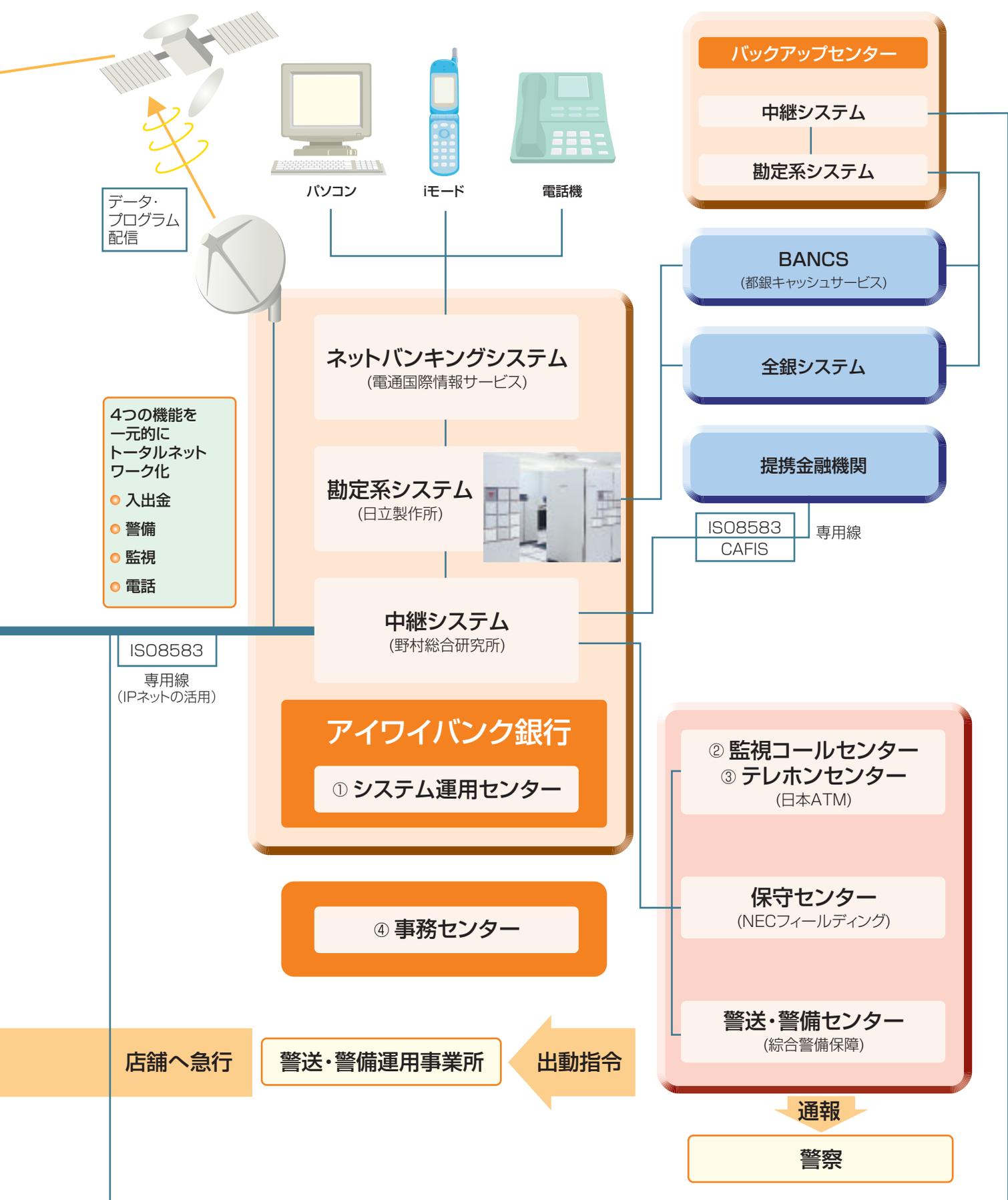
③テレホンセンター

フリーコール(0088-21-1189)からのお問い合わせにお答えしています。アイワイバンク銀行に関することをお気軽にお問い合わせください。



④事務センター

新規の普通預金口座開設等に伴う受付業務や、オペレーション業務を行っています。



- 4つの機能を一元的にトータルネットワーク化
- 入出金
 - 警備
 - 監視
 - 電話



代表取締役社長 安齋 隆

アイワイバンク銀行に関する身近なご質問にQ&Aでお答えします。

Q. アイワイバンク銀行の金利ってどれくらいなの？

A. 普通預金金利は0.05%です(平成14年6月末日現在)。お預入れ後の利率は、金融情勢に応じて、原則として毎週月曜日に見直します。当社ホームページ上および本店店頭にて表示の利率をご確認ください。

Q. 預金保険制度の対象なの？

A. 当社の普通預金は預金保険制度の対象となっております。なお、平成15年3月まで全額保護されます(予定)。

Q. 通帳がないって聞いたけど、取引はどうやって確認するの？

A. 通帳の代わりにお取引明細表(ステートメント)にてご確認いただけます。お取引明細表は毎月10日前後にインターネットにて表示、もしくは、お届けのご住所あてにご郵送いたします。日々の入出金等のお取引履歴や預金残高はパソコン、iモード、プッシュホン方式の電話でもご確認でき、残高照会はATMでもご利用いただけます。

Q. ATMで硬貨は使えるの？

A. 申し訳ございませんが「硬貨」はご利用いただけません。現在のところ、当社ATMでのお取引は1,000円以上、1,000円単位となります。なお、お取り扱いできる紙幣枚数は、1回あたり50枚までとなります。

Q. 振込みはいつでもできるの？

A. お振込の受付は、原則24時間可能です。またアイワイバンク銀行口座へのお振込であれば、24時間即時入金扱いとなります。他行あてのお振込で平日15時以降および平日以外の受付分は、相手銀行の翌営業日付けのお振込となります。お振込はATM、パソコン、携帯電話(iモード)でもご利用いただけます。なお、お振込限度額は1回あたり1,000万円までとなります。(ATMでの1日あたりの振込回数に制限はありません。)

提携金融機関さんの声

株式会社UFJ銀行様

お客さまの特性やニーズに合わせた、より利便性の高いサービスを提供するため、UFJ銀行ではいち早くアイワイバンク銀行と提携いたしました。セブン-イレブン等へのATM設置が進み、全国で約4,000箇所のキャッシュポイントの拡大につながっています。お住まいの近くにあるイトーヨーカドーや24時間営業のセブン-イレブンなら時間を気にすることなくご利用いただけます。UFJグループでは、時間・場所を問わず、「いつでも・どこでも」の利便性を今後もますます高め、お客さまのニーズにお応えしてまいります。

システムベンダーさんの声

株式会社日立製作所様

情報システム構築・運用のパートナーに当社が選ばれました。アイワイバンク銀行では、「おサイフ」代わりに身近で便利な銀行を目指すという言葉通り、セブン-イレブン等に設置されたATMを利用して入出金や振込が24時間365日可能というこれまでになかった利便性を提供しています。お客さまの利便性を第一に考え、より満足度の高い金融サービスの実現を図るアイワイバンク銀行の挑戦を、ATMインフラ構築の一員として日立製作所はしっかりと支えてまいります。

Q. キャッシュカードで買い物はできないの？

A. 残念ながらまだできません。今後、IYグループと連携し、デビットカード、ポイントカード、クレジットカード等の多機能型カードについて検討してまいります。

Q. ネットバンキングの「ご利用開始登録」ってなに？

A. パソコンや携帯電話でのお取引を開始いただく際、最初に必要となるお手続きです。当社のホームページ、iモードにてそれぞれの「ご利用開始登録」をされてからご利用いただけるようになります。



Q. 暗証番号を忘れてしまったんだけど・・・

A. テレホンセンター（フリーコール 0088-21-1189）あてにご連絡ください。ただし、暗証番号のご照会にはお答えできませんので、新しい暗証番号によるキャッシュカード再発行のお手続きに必要な書類をご郵送いたします。

※カードの再発行手数料として 1,050 円（消費税等含む）を口座からお引落しさせていただきます。

Q. キャッシュカードをなくしてしまった！

A. カードの紛失に気付いたらすぐにテレホンセンター（フリーコール 0088-21-1189）あてにご連絡ください（24 時間受付）。再発行のためのお手続きに必要な書類をご郵送いたします。



※カードの再発行手数料として 1,050 円（消費税等含む）を口座からお引落しさせていただきます。

Q. 口座の解約はどうするの？

A. 口座の解約をご希望される方は、テレホンセンター（フリーコール 0088-21-1189）あてにご連絡ください。解約申込書をご郵送いたします。必要事項をご記入・ご捺印のうえ、返信用封筒にてご返送ください。解約金（元金および税引き後のお利息）はご指定いただいた他の銀行のご本人名義口座へお振込いたします。また利息計算書は、別途ご郵送いたします。なお、本店にご来店いただくと、その場でお手続きをさせていただきます。

Q. お客さまとの窓口は？

A. ATM に備え付けのオートフォンにてお話いただくか、当社テレホンセンター（フリーコール 0088-21-1189）にお電話いただくと当社スタッフが対応させていただきます。また、東京都千代田区丸の内にある本店では、障害等により当社 ATM がご利用いただけない場合、あるいは一日あたりのお引出し金額限度額（300 万円）を超えるお引出しをされる場合（要事前連絡）は、窓口営業時間に限り、現金のお引出し・お預入れができます。



Q. アイワイバンク銀行のロゴマークってどんな意味があるの？

A. “人とネットワーク”をモチーフとしており、お客さまひとりひとりのニーズを取り囲むアイワイバンク銀行の幅広いサービスを表しています。お客さまを、「いつでも」「どこでも」サポートできる、まったく新しい銀行ネットワーク力を象徴しています。



（平成 14 年 6 月末日現在）

セブン-イレブン オーナーさん・店長さんの声

セブン-イレブン 八王子北口店

オーナー 常澤敏彦 様



駅から徒歩 5 分、商店や事業所が集まる繁華街の中にある当店は、平成 13 年の秋に ATM が設置されてから、毎月 25 日から月末にかけては特に利用される方が多く、その期間の来店客数もかなり増えました。ATM の利用が多いのは、昼どきと夜 10 時以降です。昼休みには近くの商店や事業所の方、夜は飲み屋さんやパチンコ屋さんいらした方、帰宅途中のお客さま等のご利用が目立ちます。銀行は近くにいくつもありますが「銀行は混んでいるから」とうちに来られるお客さまも多いですね。

セブン-イレブン 大和西鶴間店

店長 本間康雄 様



ATM が設置されてすぐにお客さまからご質問をたくさんいただき、関心が高いんだなと実感しました。今は ATM でお金をおろして公共料金のお支払いをされるお客さまが多いですね。街角に設置されている銀行の ATM は無人なので、とくに女性の方は夕方以降の時間帯は利用に不安を感じるようなんです。「顔見知りの店員さんがいるセブン-イレブンの店内でお金がおろせるのは、安心感があっていい」という声もいただきました。

会社概要

(平成14年3月末日現在)

名称	株式会社アイワイバンク銀行 (英名 IYBank Co., Ltd.)	資本金	610 億円
本店所在地	東京都千代田区丸の内 一丁目6番1号 丸の内センタービルディング	発行済株式数	122 万株
代表取締役社長	安斎 隆	従業員数	119 人(役員、派遣スタッフ、パート社員を除く)
設立	平成13年4月10日	格付け	長期カウンターパーティー格付け「A」 短期カウンターパーティー格付け「A-1」 アウトルック「安定的」 (スタンダード&プアーズ社)
開業	平成13年5月7日		

役員

(平成14年6月24日現在)



代表取締役社長.....	安斎 隆	取締役(非常勤).....	櫻井 孝穎
常務取締役	若杉 正敏	取締役(非常勤).....	鈴木 政志
取締役	竹村 理	取締役(非常勤).....	佐藤 信武
取締役	池田 俊明	取締役(非常勤).....	氏家 忠彦
取締役	平井 勇	監査役	田中 英夫
		監査役(非常勤).....	岡村 勲
		監査役(非常勤).....	伊藤 瑛介
		監査役(非常勤).....	尾関 史朗

主要株主

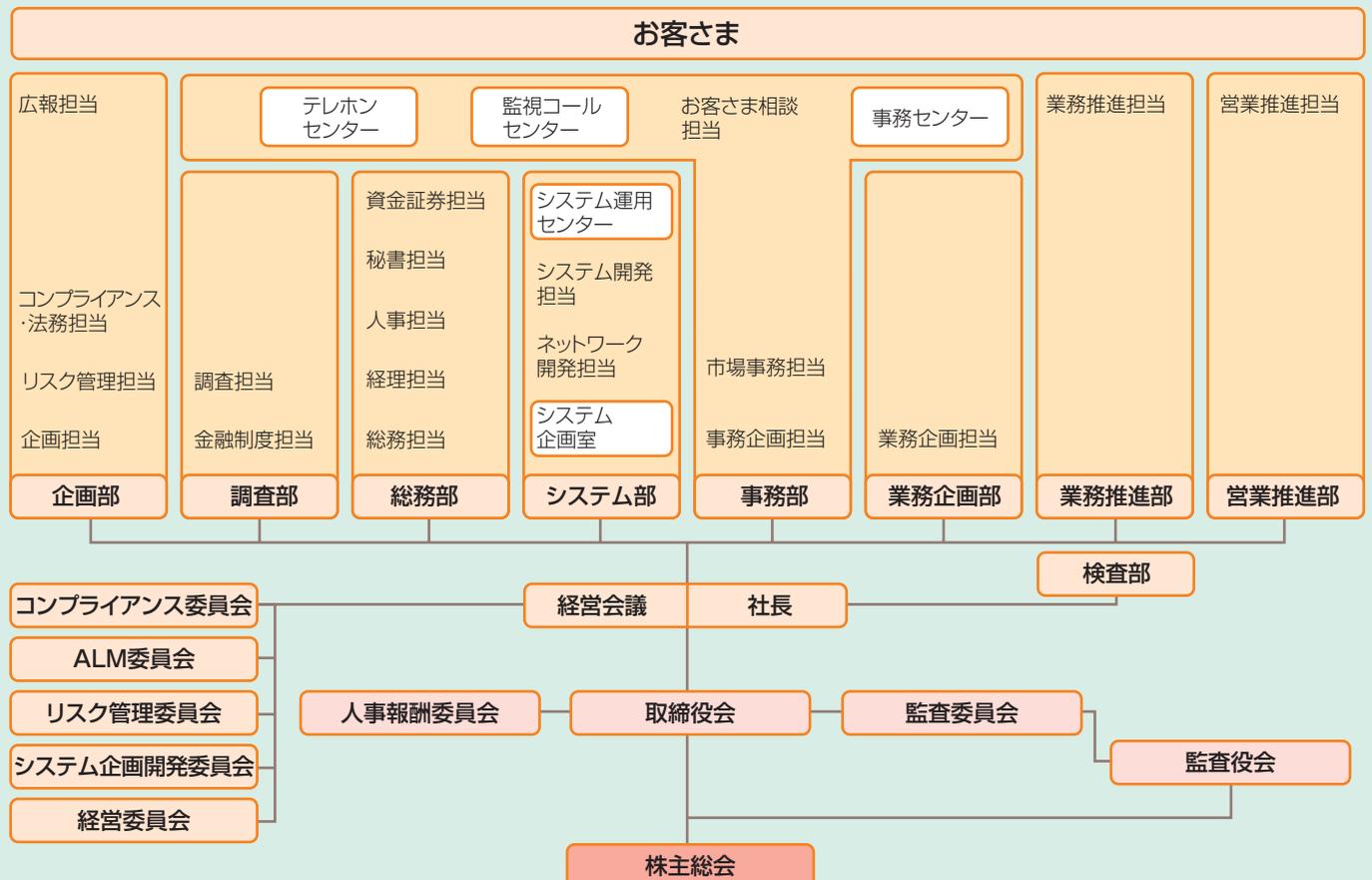
(平成14年3月末日現在)

株主名	所有株式数	持株比率	株主名	所有株式数	持株比率
株式会社イトーヨーカ堂	364,201株	29.9%	太陽生命保険相互会社	10,000株	0.8%
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	302,809株	24.8%	三井住友海上火災保険株式会社	20,000株	1.6%
株式会社UFJ銀行	60,000株	4.9%	安田火災海上保険株式会社	10,000株	0.8%
株式会社あさひ銀行	44,000株	3.6%	日本興亜損害保険株式会社	10,000株	0.8%
株式会社三井住友銀行	30,000株	2.5%	東京海上火災保険株式会社	10,000株	0.8%
株式会社東京三菱銀行	30,000株	2.5%	あいおい損害保険株式会社	10,000株	0.8%
株式会社横浜銀行	15,000株	1.2%	野村ホールディングス株式会社	20,000株	1.6%
株式会社静岡銀行	15,000株	1.2%	株式会社日興コーディアルグループ	20,000株	1.6%
株式会社千葉銀行	10,000株	0.8%	三井物産株式会社	15,000株	1.2%
株式会社日立製作所	20,000株	1.6%	伊藤忠商事株式会社	15,000株	1.2%
日本電気株式会社	20,000株	1.6%	松下電器産業株式会社	15,000株	1.2%
株式会社野村総合研究所	20,000株	1.6%	キリンビール株式会社	5,000株	0.4%
総合警備保障株式会社	10,000株	0.8%	アサヒビール株式会社	5,000株	0.4%
日本ATM株式会社	1,000株	0.1%	サントリー株式会社	5,000株	0.4%
第一生命保険相互会社	30,000株	2.5%	味の素株式会社	5,000株	0.4%
日本生命保険相互会社	20,000株	1.6%	日清食品株式会社	5,000株	0.4%
住友生命保険相互会社	10,000株	0.8%	富士写真フイルム株式会社	5,000株	0.4%
明治生命保険相互会社	10,000株	0.8%	花王株式会社	5,000株	0.4%
安田生命保険相互会社	10,000株	0.8%	凸版印刷株式会社	5,000株	0.4%

(小数点第2位以下を四捨五入)

組織図

(平成14年3月末日現在)



リスク管理の取り組み

当社は、経営に係る各種のリスク特性を認識し、適切に管理することにより、経営の健全性と効率性を確保するためのリスク管理体制を構築しております。取締役会により決定される「リスク管理の基本方針」により、全社的なリスク管理方針、各種リスク管理の基本方針、およびリスク管理組織・体制を定めており、この基本方針に基づき、経営会議にてリスク管理に関する諸規程を定めております。

リスク管理組織としては、全社的なリスク管理統括部署としての企画部リスク管理担当、各リスク管理統括部署、内部監査部署としての検査部等を設置しております。また、リスク管理に関する経営会議の諮問機関として、ALM委員会等の各種委員会を設置しております。

信用リスクの管理体制

信用リスクに関する基本方針を「リスク管理の基本方針」に、その下位規定として「信用リスク管理規程」を制定し、これを遵守しております。信用リスクは現状、ATMによる決済業務およびALM操作に関わる優良な金融機関等に対する預け金、資金放出、仮払金等に限定しており、信用リスクを抑制した運営としております。また、自己査定基準、償却引当基準、自己査定・償却引当規程に従い、適正な自己査定、償却引当を実施しております。

市場リスクの管理体制

市場リスクに関する基本方針を「リスク管理の基本方針」に、その下位規定として「市場性リスク管理規程」を制定し、これを遵守しております。「市場性リスク管理規程」にて、リスク額限度、ポジション限度、損失許容限度を設定することを規定し、企画部リスク管理担当がそれらについて日次で計測・モニタリングし、経営あて報告を行っております。なお、月1回開催するALM委員会にて、リスクの状況、金利動向の見通し等が報告され、運営方針を決定する体制としております。

流動性リスクの管理体制

流動性リスクに関する基本方針を「リスク管理の基本方針」に、その下位規定として「流動性リスク管理規程」を制定し、これを遵守しております。「流動性リスク管理規程」にて、運用・調達の期間違いによって生ずるギャップ限度を設定することを規定し、企画部リスク管理担当がそれらについて日次で計測・

モニタリングし、経営あて報告を行っております。資金繰り逼迫時においては、全社的に迅速かつ機動的な対応がとれるよう、シナリオ別対策を予め策定し、万全を期しています。また、即時資金化が可能な国債・預金を中心とした運用、コミットメントラインの設定等により緊急時においても資金流動性確保に懸念はないものと考えております。

事務リスクの管理体制

当社は、有人の窓口を持たずATMを中心とした非対面取引を基本とした銀行として、その特殊性を認識し、事務リスクの管理体制を構築しております。まず、取引開始時の本人確認を厳正に行い架空名義口座防止のチェックには独自のシステムで対応しており、疑わしい取引の抽出等のマネーロンダリング防止にも注力しております。また、ATMの監視コールセンターやテレホンセンターでお客さまからのお問い合わせに年中無休でお応える体制をとっております。これらの事務は、「事務リスク管理規程」を制定し、手続きはすべて事務規則・細則に則り、正確・適正に行っております。さらには、各部・センターの自主検査や検査部の内部監査を定期的実施して、事務ミス・不正の防止に努めております。

システムリスクの管理体制

当社では、システムリスクに対する基本的な考え方を「システムリスク管理規程」として定め、規程に基づいたシステムの開発・運用を行うことにより、効率的な開発・品質向上の徹底・安全な運用が実施できるよう努めております。システムの構成は、最新のIT(情報技術)を最大限活用した上で、なおかつ、ネットワーク・ハード機器を2重化・多重化しており、災害・障害時に備え、ATMのバックアップセンターでの稼働切替え等の対策を施しております。ファイル・プログラム等のライブラリは、重要度に応じてバックアップを行い、不測の事態に備え隔地保管を実施しております。また、情報管理に関しても、ファイアーウォールによる当社システムへの侵入防止、24時間365日のアクセス監視、お客さまとの間の暗号化通信、ウィルスチェックプログラムの導入等、細心の注意をもって対応しております。さらには、お客さまに安心して当社のサービスをご利用いただけるよう障害・災害等の不測の事態に備え、予めコンティンジェンシープランを策定し、また定期的に訓練を実施する等の体制を整えております。

コンプライアンスの取り組み

当社は、法令等の社会的規範の遵守は社会から信頼をしていただく当然の前提であると考え、また、銀行としての公共的使命の高さと社会的責任の重さを十分に認識し、経営の最重要課題であるコンプライアンスの徹底のために下記の取り組みを行っております。

コンプライアンス体制

当社では、各部署にコンプライアンスオフィサーを任命し、担当部署におけるコンプライアンスやトラブルの窓口の役割を果たさせるとともに、コンプライアンスリスク管理担当取締役による全社に互る統括管理の下、企画部を全社の統括部署として、自己責任、自助努力、相互牽制による自浄検討機能を有する組織の確立を図っております。検査部は、全社に互るコンプライアンス体制に対する、独立した内部監査機能を担っております。さらに、コンプライアンス全般についての重要事項については、経営会議の諮問機関である「コンプライアンス委員会」にて検討、評価を行う体制をとっております。

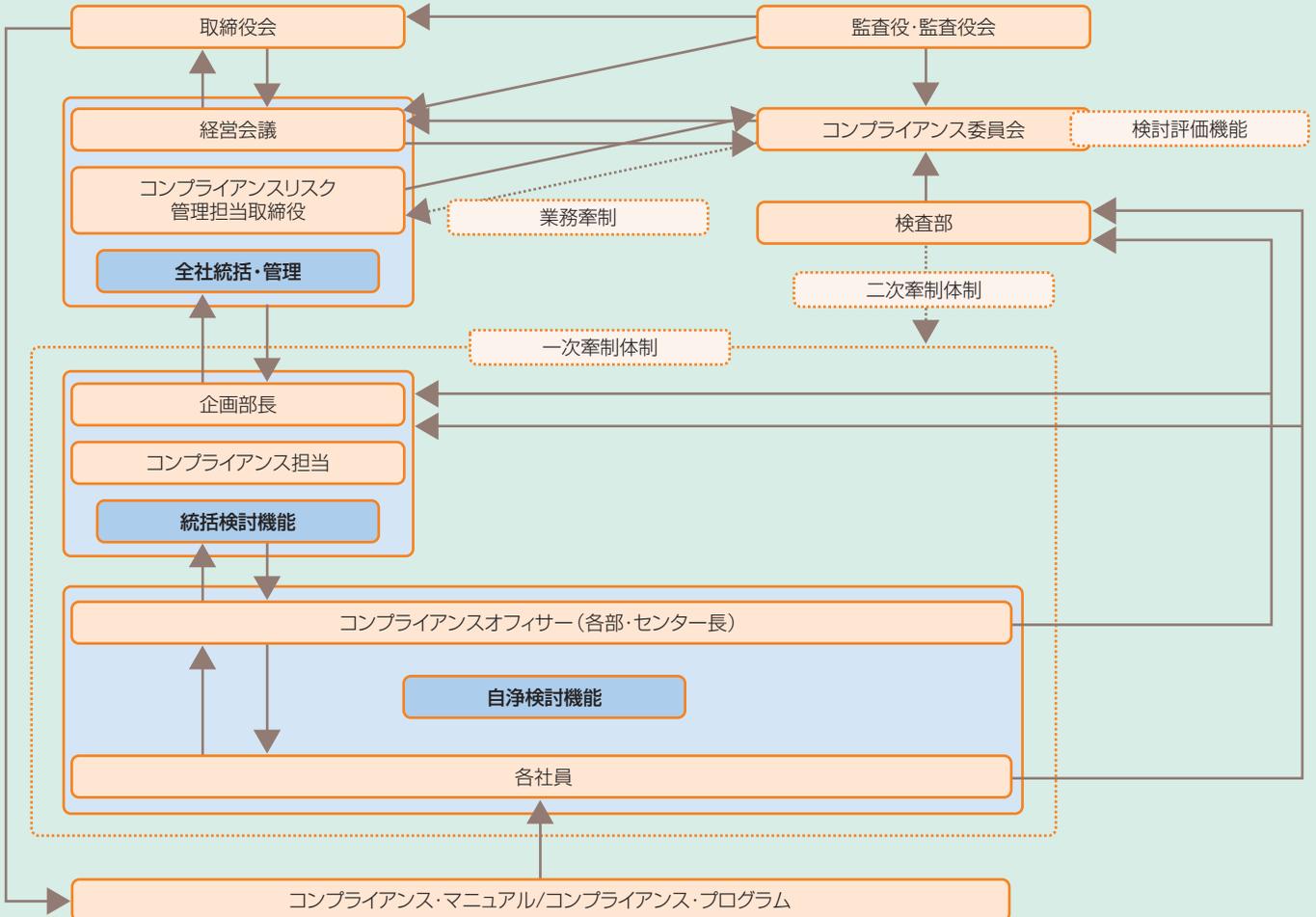
コンプライアンス・プログラム

当社では、事業年度ごとに、コンプライアンスに関する実践計画としての「コンプライアンス・プログラム」を制定することとしております。当社のコンプライアンスに関する具体的な活動は、この「コンプライアンス・プログラム」により実施され、取締役会にて、各期のプログラムの進捗状況、実施状況を検証・評価した結果を踏まえ、翌期のプログラムを策定してまいります。

コンプライアンス・マニュアル

当社では、コンプライアンス徹底のため、コンプライアンス・マニュアルとして「コンプライアンスの手引き」を制定し、社員全員に配布しています。この内容は、法令の改廃等必要に応じて改訂していきます。また、コンプライアンス・マニュアルの内容の徹底のため、コンプライアンス・プログラムに従い、部署ごとにコンプライアンス研修等を実施し、繰り返し周知徹底を図ります。

コンプライアンス体制図



■ 事業の概況

ATM 事業の状況

平成13年5月15日に、東京23区内59ヶ所に設置した計66台(イトーヨーカドー5店舗9台、セブン-イレブン52店舗52台、本店3台、IYグループ本部2台)のATMが稼働し、同日、提携銀行の三和銀行(現UFJ銀行)とATMが接続されました。その後、6月1日より静岡銀行との提携により静岡県内、6月18日にはあさひ銀行との提携により埼玉県内にてATMサービスを開始しました。また、7月23日に大阪府内、同月27日に兵庫県内にてATMサービスを開始し、関西地区にもサービスを拡大しました。また、9月12日には、デニーズ5店舗にATMを設置し、外食チェーンでは国内初めてとなるATMサービスを実現しました。さらに、平成14年1月21日に横浜銀行との提携により神奈川県、2月18日に千葉銀行との提携により千葉県内にてATMサービスを開始しました。提携先が広がるとともに、ATM設置は台数、地域とも拡大し、平成14年3月末日現在で1都1府5県に計3,657台のATMを設置しております。また、平成13年12月17日に新生銀行、平成14年1月28日には三井住友銀行との提携を開始しました。なお、これらのATMはすべて、当社と提携銀行であるUFJ銀行、静岡銀行、あさひ銀行、新生銀行、横浜銀行、三井住友銀行および千葉銀行との共同出張所となっております。

この間、平成13年6月11日に全銀システムと接続し、他行から当社口座へのお振込が可能となりました。6月13日には、BANCS(都銀キャッシュサービス)との接続で、すべての都市銀行のキャッシュカードによる当社ATMでのお引出し等が開始され、また、6月18日からは当社口座からの自行および他行あてのお振込が、11月5日にはBANCS加盟都市銀行のカードによるお振込もできるようになりました。さらに、7月9日には野村證券、日興證券(現日興コーディアル証券)と提携し、野村カード、日興カードおよび日興ワールドキャッシュカードによる当社ATMでの現金お引出し等が可能となりました。

預金口座の状況

当社では定期預金は取り扱っていないため、預金は主として普通預金となっております。平成14年3月末日時点における個人のお客さまの口座数は約6万3千口座、預金残高は約52億円で、1口座あたりの金額は約8万2千円となっております。ATM提携や売上金入金サービス等、事業に必要な場合に限り法人向け普通預金口座を開設しておりますが、平成14年3月末日時点での口座数は約5千口座、預金残高は約302億円となっております。なお、譲渡性預金が別途あり、3月末日の残高は400億円となっております。

平成13年12月17日にはネットバンキングサービスを開始し、パソコンや携帯電話(iモード)からの当社普通預金口座開設の申し込みが可能となったほか、当社普通預金口座をお持ちのお客さまは、パソコンや携帯電話(iモード)でお振込、残高照会等ができるようになりました。また、IYグループのアイワイ・カード・サービスが発行するクレジットカードの代金決済のための口座振替サービスも開始しました。

ATMのご利用状況

当社のATMサービスでは、当社キャッシュカードによるお引出し、お預入れ、お振込及び残高照会を、また各提携金融機関及びBANCS加盟都市銀行のキャッシュカードでの引出しや残高照会等を提供しております。(各金融機関のキャッシュカードの利用可能時間や手数料は、それぞれの提携条件により異なっております。)利用件数はサービス開始以来順調に推移しており、また曜日・時間帯別の利用状況では給与振込日ならびに夜間や土日祝日における利用が多く、身近な場所で24時間365日稼働する当社のATMはお客さまから確実にご支持をいただいております。

また、当社のATMネットワークを活用して、セブン-イレブン店舗向けに売上金入金サービスを平成13年12月より開始しました。毎日の売上金を24時間365日稼働する当社ATMにて入金することで、利便性や安全性を高めたいというニーズに応えたものです。同じようなニーズを有する一般事業会社に対し、今後同様のサービスを提供することを検討しております。

■ 収支状況および財政状態

経営成績

当社にとって第1期である平成14年3月期の経営成績は、経常収益が19億6百万円、経常損失が121億6千8百万円、当期純損失が121億8千1百万円となりました。他行とのATM接続時期のずれ込み等によりATM利用手数料の収入ならびに経費支出が下振れいたしました。結果として中間決算発表時の予想に対して純損失は縮小いたしました。

財政状態

【資産】

初年度期末における資産合計は1,274億7千2百万円となりました。設置したATMの運営に伴う多額の現金資産を保有していることが当社バランスシートの特徴であり、現金預け金は870億3千万円となっております。その他資産として、有価証券は担保に必要な国債に限定しており、残高は166億2百万円となっております。また、その他資産のうち、116億7千2百万円を占める仮払金は、おもに提携金融機関のお客さまによる当社ATMでの出金資金を立替えていることによるものです。システム開発資産(ソフトウェア)の残高は94億6千2百万円となっております。

【負債】

負債合計は786億3千9百万円となりました。普通預金残高354億6千6百万円のうち、一般個人のお客さまの預金は51億9千2百万円、法人預金が302億7千4百万円となっております。なお、親会社からの預金は法人預金のうち、298億8千5百万円および譲渡性預金全額400億円の計698億8千5百万円となっております。

【資本】

平成13年8月および平成14年3月に第三者割当増資(全額資本金繰り入れ)を実施し資本の充実を図った結果、期末資本金は610億円となりましたが、欠損金121億8千1百万円および評価差額金1千4百万円が発生したため、資本合計は488億3千3百万円となっております。なお、自己資本比率(国内基準)は300.94%となっております。

資本の状況

平成13年8月および平成14年3月の2度の第三者割当増資実施により、3月末日の資本金は610億円となりました。発行済み株数はすべて普通株式で122万株となっております。

■ 次期業績等の見通し

平成14年度におきましては、既に展開しているエリアでのATM密度を高めるとともに地方銀行との提携を進め、5月の栃木県(足利銀行との提携)をはじめとして関東、東北、九州等へもATMを設置してまいります。平成15年3月期末にはATM設置台数は累計で5,000台を超える見通しとなっております。また、既に当社にご出資いただいている東京三菱銀行との提携、さらに、クレジットカード会社、生命保険会社、消費者金融会社等その他金融機関との提携を推進することでサービス内容の拡充を図るとともに、当社ATMの認知度向上・利用促進に向けた広告・宣伝等の施策を展開する等ATM事業の強化に注力してまいります。

このようなATMネットワークにおけるサービス基盤の一層の拡充に加え、IYグループ店舗に来店されるお客さまのニーズにあった新たな個人向け金融サービスとして、各種代金決済サービス、ローンサービス等の検討・導入を進めてまいります。同時に、当社の24時間稼働のATMネットワークを活用した一般事業会社向けのサービスとして、売上金入金サービスの導入等も進めてまいります。

しかしながら、装置産業の特性として先行投資の負担があること、他行とのATM接続提携がずれ込んだこと等から、引き続き創業赤字が継続する見通しとなりました。平成15年3月期の経営成績は、経常収益175億8千5百万円、経常損失64億7千万円と見込んでおります。

(注)上記の見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、今後の経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により実際の業績は見通しと異なる場合があります。

貸借対照表

(平成14年3月末日現在)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	87,030
現金	56,015
預け金	31,015
有価証券	16,602
国債	16,602
その他資産	22,989
前払費用	307
未収収益	457
仮払金	11,692
ソフトウェア	9,462
その他の資産	1,069
動産不動産	867
土地建物動産	585
保証金権利金	282
貸倒引当金	△18
資産の部合計	127,472

科目	金額
(負債の部)	
預金	35,489
普通預金	35,466
その他の預金	23
譲渡性預金	40,000
その他負債	3,124
未払法人税等	9
未払費用	1,154
その他の負債	1,960
賞与引当金	25
負債の部合計	78,639
(資本の部)	
資本金	61,000
欠損金	12,181
当期末処理損失	12,181
当期損失	12,181
評価差額金	14
資本の部合計	48,833
負債及び資本の部合計	127,472

- 注1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有価証券の評価は、期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は主として移動平均法により算定)により行っております。なお、評価差額については、全部資本直入法により処理しております。
3. 動産不動産の減価償却は、定率法(ただし、建物(建物附属設備を除く。))については定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
- 建物 6年～18年
動産 3年～20年
4. 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法により償却しております。
5. 創立費、開業準備費及び新株発行費は支出時に全額費用として処理しております。
6. 貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。
- 「銀行等金融機関の資産の自己査定に係る内部統制の検証並びに貸倒償却及び貸倒引当金の監査に関する実務指針」(日本公認会計士協会銀行等監査特別委員会報告第4号)に規定する正常先債権及び要注意先債権に相当する債権については、一定の種類毎に分類し、予想損失率等に基づき引き当てております。破綻懸念先債権に相当する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち必要と認める額を引き当てております。破綻先債権及び実質破綻先債権に相当する債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除した残額を引き当てております。
- すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、本部各々が資産査定を実施し、その査定結果に基づいて企画部企画担当が貸倒引当金の算定を行っております。なお、当該部署から独立した検査部が査定結果の監査を行うこととしております。
7. 賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当期に帰属する額を計上しております。
8. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナ

- ス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。
9. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
10. 支配株主に対する金銭債務総額 22百万円
11. 動産不動産の減価償却累計額 95百万円
12. 貸借対照表に計上した動産不動産のほか、現金自動受払機・電子計算機及びその周辺機器及びその他の事務用機器等の一部については、リース契約により使用しております。
13. 為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として、有価証券 16,602百万円を差し入れております。
14. 1株当たりの当期損失 22,557円26銭
15. 商法第290条第1項第6号に規定されている時価を付したことにより増加した純資産額は、14百万円であります。
16. 有価証券の時価、評価差額等に関する事項は次のとおりであります。
- その他有価証券で時価のあるもの
- | 取得原価 | 貸借対照表計上額 | 評価差額 | |
|--------------|-----------|-------|-------|
| | | うち益 | うち損 |
| 債券 16,587百万円 | 16,602百万円 | 14百万円 | 14百万円 |
| 国債 16,587百万円 | 16,602百万円 | 14百万円 | 14百万円 |
| 合計 16,587百万円 | 16,602百万円 | 14百万円 | 14百万円 |
17. その他有価証券のうち満期があるものの期間ごとの償還予定額は次のとおりであります。
- | | 1年以内 | 1年超5年以内 | 5年超10年以内 | 10年超 |
|-------------|-----------|---------|----------|------|
| 債券 6,019百万円 | 10,582百万円 | 100万円 | 100万円 | |
| 国債 6,019百万円 | 10,582百万円 | 100万円 | 100万円 | |
| 合計 6,019百万円 | 10,582百万円 | 100万円 | 100万円 | |
18. 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、必要額を計上しております。また、数理計算上の差異の費用処理方法は以下のとおりであります。
- 数理計算上の差異 各発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌期から費用処理

損益計算書/キャッシュ・フロー計算書

(平成 13 年 4 月 10 日から平成 14 年 3 月 31 日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	1,906
資金運用収益	10
有価証券利息配当金	6
コールローン利息	0
預け金利息	4
役務取引等収益	1,867
受入為替手数料	10
その他の役務収益	1,856
その他経常収益	29
その他の経常収益	29
経常費用	14,074
資金調達費用	19
預金利息	3
譲渡性預金利息	15
コールマネー利息	1
役務取引等費用	348
支払為替手数料	4
その他の役務費用	343
営業経費	12,557
その他経常費用	1,149
貸倒引当金繰入額	18
その他の経常費用	1,131
経常損失	12,168
税引前当期損失	12,168
法人税、住民税及び事業税	13
当期損失	12,181
当期末処理損失	12,181

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 支配株主との取引による費用総額 11 百万円

(単位:百万円)	
	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期利益(損失)	△ 12,181
減価償却費	1,683
貸倒引当金の増加額	18
資金運用収益	△ 10
資金調達費用	19
有価証券関係損益	-
貸出金の純増減	-
預金の純増減	35,489
譲渡性預金の純増減	40,000
資金運用による収入	6
資金調達による支出	△ 13
その他	△ 11,202
小計	53,808
法人税等の支払額	△ 3
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,805
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△ 16,599
有価証券の売却による収入	-
動産不動産の取得による支出	△ 977
動産不動産の売却による収入	-
ソフトウェアの取得による支出	△ 10,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,774
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	61,000
自己株式の取得による支出	-
配当金の支払額	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,000
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	-
V. 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	87,030
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	-
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	87,030

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、貸借対照表上の「現金預け金」であります。

その他の財務等情報

注記がない限り、単位以下は切り捨てて表示しております。

(平成 14 年 3 月期)

【粗利益・業務純益】

	(単位:百万円)
資金運用収支	△ 9
役員取引等収支	1,519
その他業務収支	-
業務粗利益	1,509
業務粗利益率	4.97%
業務純益	△ 11,066

国際業務部門の収支はありません。

業務粗利益率は業務粗利益の年度換算額を資金運用勘定平均残高で除して算出しております。

【資金運用勘定・資金調達勘定の平均残高等】

	(単位:百万円、%)			
	期末残高	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定①	26,838	31,141	10	0.03
うち 貸出金	-	-	-	-
有価証券	16,602	7,633	6	0.08
コールローン	-	22	0	0.02
譲渡性預け金	-	702	0	0.02
預け金(除く無利息分)	10,236	22,783	4	0.01
資金調達勘定②	75,489	42,706	19	0.04
うち 預金(除く譲渡性預金)	35,489	9,118	3	0.03
譲渡性預金	40,000	28,761	15	0.05
コールマネー	-	4,825	1	0.02
資金利ざや(①利回り-②利回り)				△ 0.01

国際業務部門の資金運用勘定・資金調達勘定はありません。

【受取・支払利息の増減】

	(単位:百万円)		
	残高による増減	利率による増減	純増減
資金運用勘定	-	-	-
資金調達勘定	-	-	-

当期は第1 期のため増減比較は行っておりません。

【営業経費の内訳】

	(単位:百万円)
営業経費	12,557
うち 人件費	1,191
物件費	11,352
うち 業務委託費	5,188
土地建物機械賃借料	2,042
減価償却費	1,683

【利益率】

	(単位:%)
総資産経常利益率	-
資本経常利益率	-
総資産当期純利益率	-
資本当期純利益率	-

当期は、経常損失、当期損失となったため、利益率はいずれも記載しておりません。

【預金残高】

	(単位:百万円)	
	当期末残高	同平均残高
流動性預金	35,489	9,118
定期性預金	-	-
譲渡性預金	40,000	28,761
合計	75,489	37,880

国際業務部門の預金はありません。

定期性預金は取り扱っておりませんので、定期預金の残存期間別残高は記載しておりません。

【貸倒引当金】

	(単位:百万円)	
	当期末残高	期中増減
一般貸倒引当金	18	+18
個別貸倒引当金	-	-
特定海外債権引当勘定	-	-
合計	18	+18

業務上継続的に発生する仮払金等につき、社内規定による一般貸倒引当金を計上しております。

【資産査定状況】

平成 14 年 3 月末日現在	(単位:百万円)
債権の区分	金額
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-
危険債権	-
要管理債権	-
正常債権	43,088
合計	43,088

上記は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づくものです。

【貸出金】

当該期において、貸出金は発生しておりませんので、貸出金にかかる以下の情報は記載しておりません。貸出金平均残高、貸出金残存期間別残高、貸出金担保別内訳、貸出金用途別内訳、貸出金業種別内訳、中小企業向け貸出、特定海外債権残高、預貸率、破綻先債権に該当する貸出金残高、延滞債権に該当する貸出金残高、3ヶ月以上延滞債権に該当する貸出金残高、貸出条件緩和債権に該当する貸出金の額、貸出金償却額

【有価証券残高】

平成14年3月末日現在	(単位:百万円)	
	当期末残高	同平均残高
国債	16,602	7,633
地方債	—	—
社債	—	—
株式	—	—
その他の証券	—	—
うち 外国債券	—	—
外国株式	—	—
合計	16,602	7,633

国際業務部門の有価証券残高はありません。

【有価証券残存期間別残高】

平成14年3月末日現在	(単位:百万円)				
	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超	合計
国債	6,019	10,582	—	—	16,602
地方債	—	—	—	—	—
社債	—	—	—	—	—
株式	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
うち 外国債券	—	—	—	—	—
外国株式	—	—	—	—	—
合計	6,019	10,582	—	—	16,602

国際業務部門の有価証券残高はありません。

【商品有価証券の平均残高】

該当ありません。

【預証率】

	当期末	当期中平均
預証率	21.99%	20.15%

預証率

$$\left(\frac{\text{有価証券期末(平均)残高}}{\text{預金債券等期末(平均)残高}} \right)$$

【有価証券の時価情報】

平成14年3月末日現在	(単位:百万円)				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
国債	16,587	16,602	14	14	—
合計	16,587	16,602	14	14	—

国際業務部門の有価証券残高はありません。

【金銭の信託の時価情報】

該当ありません。

【デリバティブ取引の時価情報】

該当ありません。

【自己資本の状況】

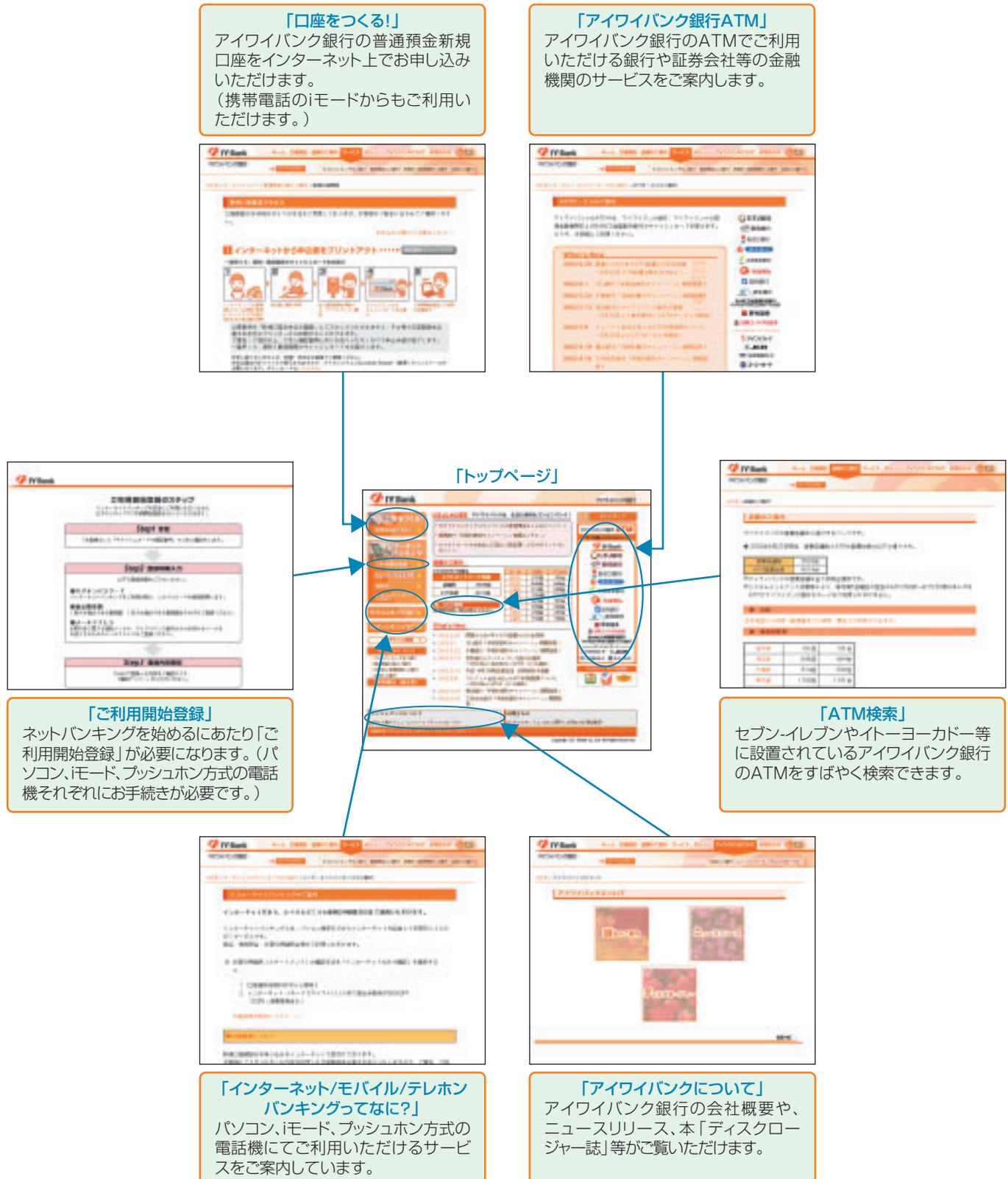
平成14年3月末日現在		(単位:百万円)
基本的項目		48,818
補完的項目	一般貸倒引当金	18
	その他引当金	—
	計	18
	うち自己資本への算入額	18
控除項目	他の金融機関の資本調達手段 の意図的な保有相当額	—
自己資本額		48,837
リスクアセット等	資産(オン・バランス)項目	16,227
	オフ・バランス取引項目	—
	計	16,227
自己資本比率(国内基準)		300.94%

ホームページのご利用案内

(平成14年6月末日現在)

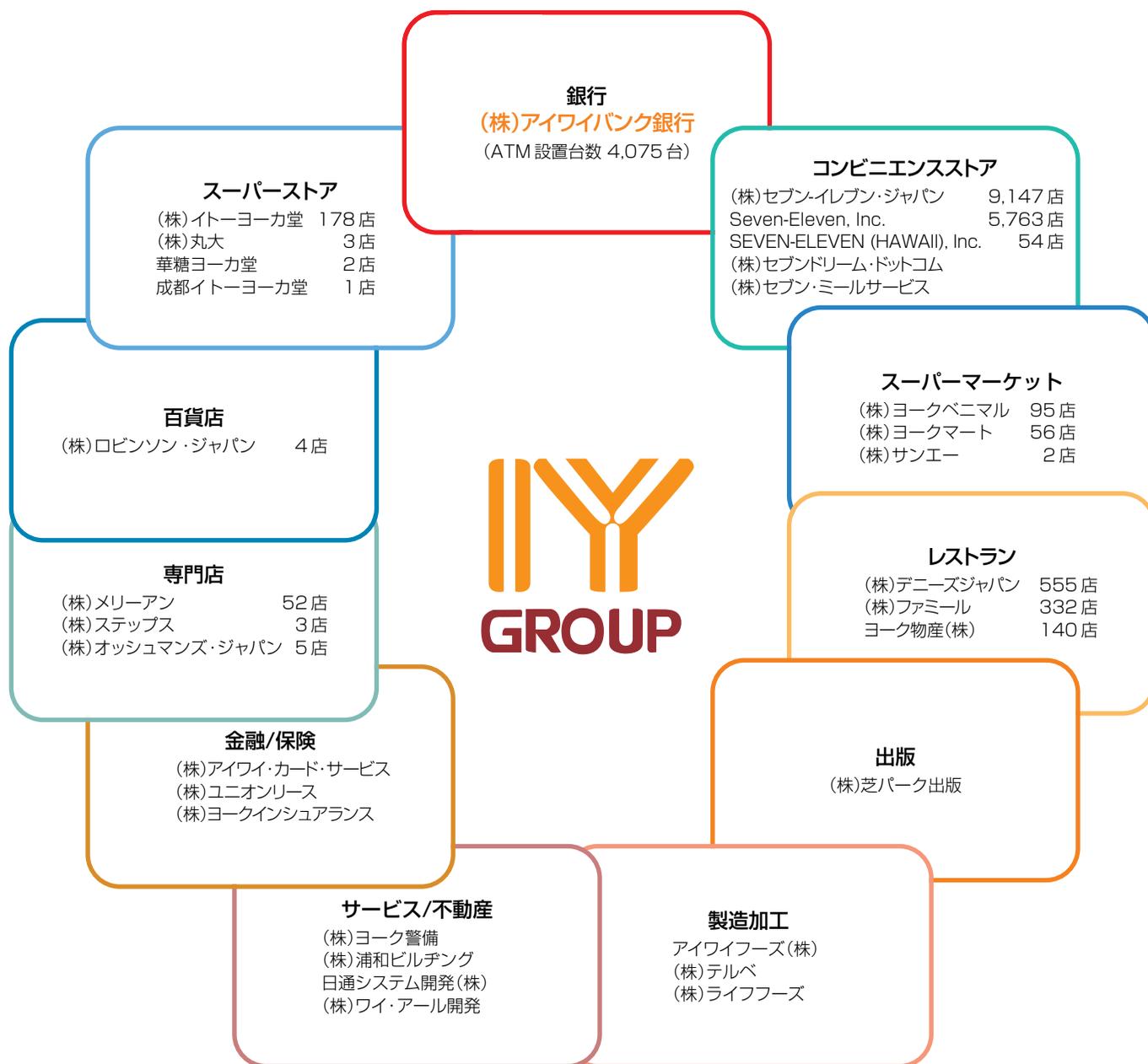
アイワイバンク銀行のホームページへようこそ!! <http://www.iy-bank.co.jp/>

「アイワイバンク銀行のホームページ」では、ATM 設置場所やご利用できるカードのご案内、新規口座開設やインターネットバンキング等、さまざまな情報をお客さまにご案内しています。



IYグループのご紹介

(平成14年6月末日現在)



当社に関するお問い合わせ先

受付時間 8時～21時年中無休
※カード紛失については、24時間受付けております。

テレホンセンター

フリーコール 0088-21-1189
携帯電話・PHSからは03-5617-2231(有料)

ホームページアドレス

<http://www.iy-bank.co.jp/>

発行

平成14年7月 株式会社アイワイバンク銀行 企画部 広報担当
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービルディング
TEL 03-3211-3041



株式会社 アイワイバンク銀行

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番1号
丸の内センタービルディング
<http://www.iy-bank.co.jp/>